NCL-13A モニタソフト

SWM-NCL01M

取扱説明書

目　次

本書について 2
モニタソフト使用上の注意 2
CD-ROM について 2
1. モニタソフトご使用の準備 3
1.1 動作環境 3
1.2 インストール手順 7
Windows Me/2000/XP の場合 7
Windows 98/NT4.0 の場合 12
1.3 アンインストール手順 17
2. モニタソフトの起動と終了 21
2.1 パソコン- NCL-13A 間の配線 21
2.2 モニタソフトの起動 23
2.3 モニタソフトの画面および操作 25
2.3.1 画面の切り替え 25
(1) メイン画面 25
(2) 1 チャンネル画面 27
(3) 設定画面 28
(4) チャート画面 29
(5) チャート描写条件設定画面 30
(6) ロギング画面 31
(7) 全チャンネル一括設定画面 33
2.3.2 メニューバーの操作 36
(1) プリンタ選択 36
(2) 印刷 36
(3) モニタソフトの終了 36
(4) チャンネル名登録 37
(5) 警報表示色設定 38
(6) チャンネル単位 設定値のセーブとロード 39
(7) 全チャンネル一括 設定値のセーブとロード 40
(8) アラームヒストリ画面 42
(9) ヘルプ画面 42
(10) バージョン情報画面 43

Shinko

本書について

・本書は，NCL-13Aモニタソフト“SWM-NCL01M”(以下，モニタソフト)のインストール方法について説明したものです。
・本書の説明は，Windows Meで行っていますが，他のOS(Windows 98/NT4.0/2000/XP)も同様の操作で行えます。
・本書では“XXページを参照してください”を(➡P.XX)と表現しております。

モニタソフト使用上の注意

==========

ソフトウェア使用許諾契約書

==========

1. 使用許諾
   (1)お客様は，本契約に同意していただいた場合のみモニタソフトを使用することができます。
   (2)お客様は，モニタソフトをリバースエンジニアリング，逆コンパイルもしくは逆アセンブルをしてはならないものとします。
2. 著作権
   モニタソフトに関する著作権は，神港テクノス株式会社(以下，弊社と表記します)が保有しています。
3. 譲渡の規制
   お客様は，モニタソフトを譲渡，貸与またはリースすることはできません。
4. 複製
   お客様は，モニタソフトのコピーを配布することはできません。
5. 免責
   (1)弊社は，モニタソフトを使用した結果に関していかなる保証も行いません。
   モニタソフトに関して発生する問題は，お客様の責任および費用負担によって処理されるものとします。
   (2)弊社はいかなる場合であっても，お客様がモニタソフトを使用することにより生じ商業的利益の逸失，商業の支障その他いかなる損害について，たとえかかる損害が生じる可能性があることにつき通知を受けていた場合であっても一切の責任を負わないものとします。

==========

CD-ROM について

・CD-ROMの場合，以下のファイルが収められています。

Install_E.txt / Install_J.txt
　モニタソフトのインストール方法について重要な情報が記載されているファイルです。

Readme_E.txt / Readme_J.txt
　モニタソフトの使用許諾や著作権などについて重要な情報が記載されているファイルです。

SWM-NCL01M_Vxxx.msi [Win2000フォルダ内]
　モニタソフトのインストール実行ファイルです。
　Windows Me/2000/XP の場合使用してください。

setup.exe [Win98¥English / Win98¥Japaneseフォルダ内]
　モニタソフトのインストール実行ファイルです。
　Windows 98/NT4.0 の場合または上記ファイルでインストールできない場合使用してください。

・Windows 98/Me/NT4.0/2000/XPは，米国マイクロソフト社の登録商標です。

1. モニタソフトご使用の準備

1.1 動作環境

モニタソフトは，下記の環境で動作します。

●パソコン

Windowsで動くパソコン

・RS-232Cインタフェース装備(COM1またはCOM2)

・ハードディスク空き容量 インストール時，50Mバイト以上

・CD-ROMドライブ装備

●OS

Windows XP Home Edition (日本語版/英語版)
Windows XP Professional (日本語版/英語版)
Windows 2000 Professional (日本語版/英語版)
Windows Me (日本語版/英語版)
Windows NT4.0 (日本語版/英語版)
Windows 98 (日本語版/英語版)

●ディスプレイ

解像度 800×600ドット以上
フォントは“小さいフォント”でご使用ください。
フォントの設定方法を以下に示します(➡P.3～6)。

・フォントの設定方法

“**大きいフォント**”から“**小さいフォント**”に変更する設定方法を，下記の手順で行います。

(1) 起動しているアプリケーションを全て終了してください。

スタートメニューから，[**設定(S)**] - [**コントロールパネル(C)**]を選択しクリックしてください。

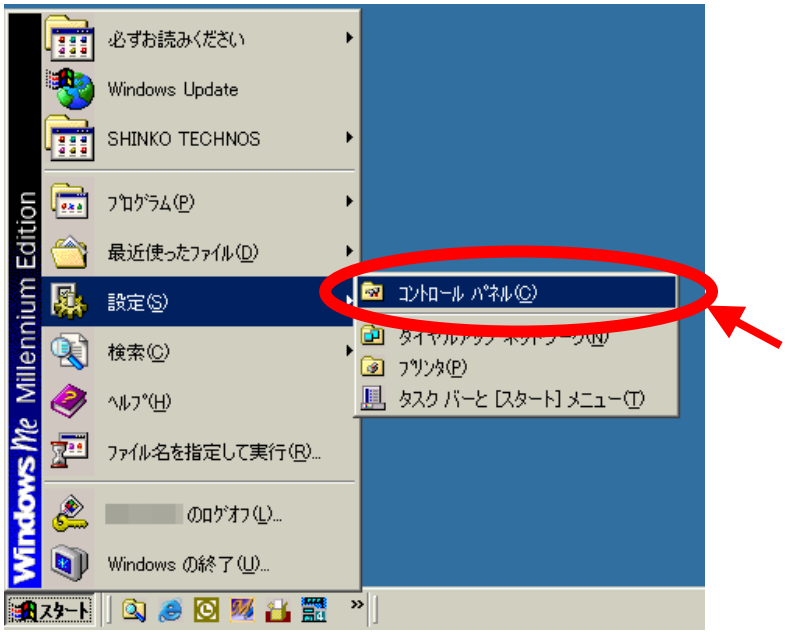


図1.1-1

(2)[画面]アイコンをダブルクリックしてください。

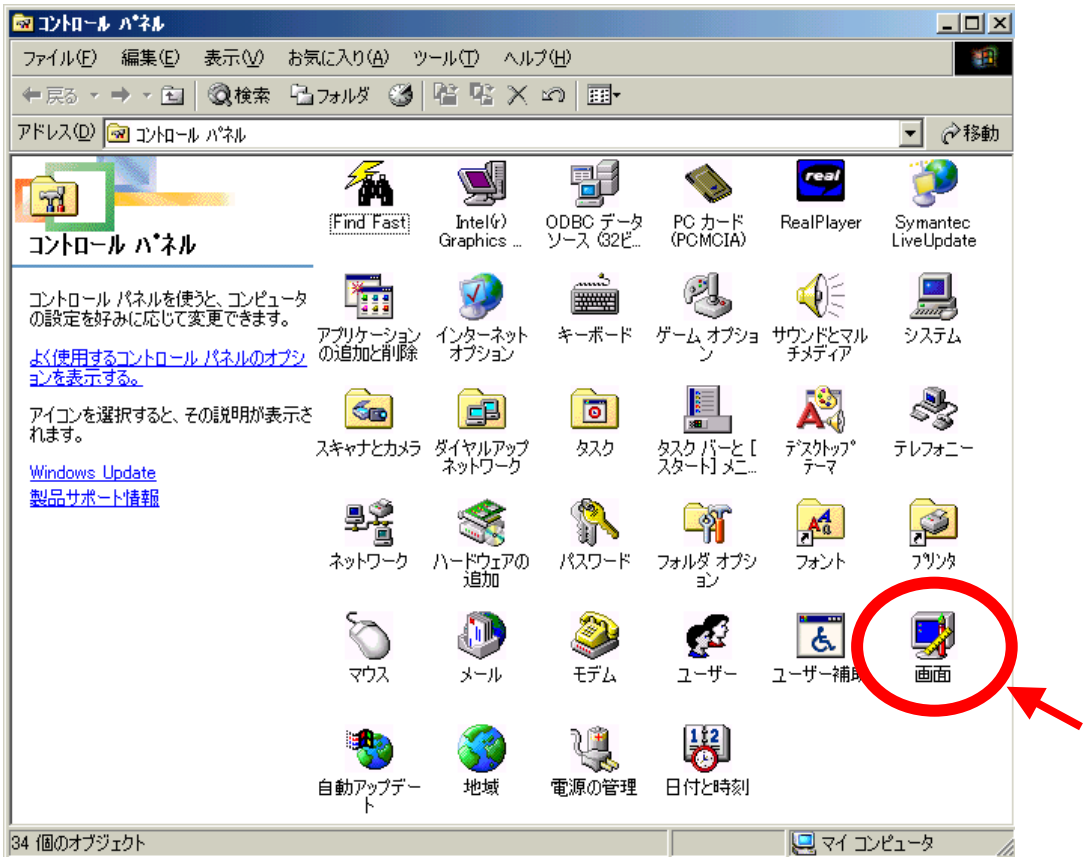


図1.1-2

(3)[設定]タブをクリックしてください。

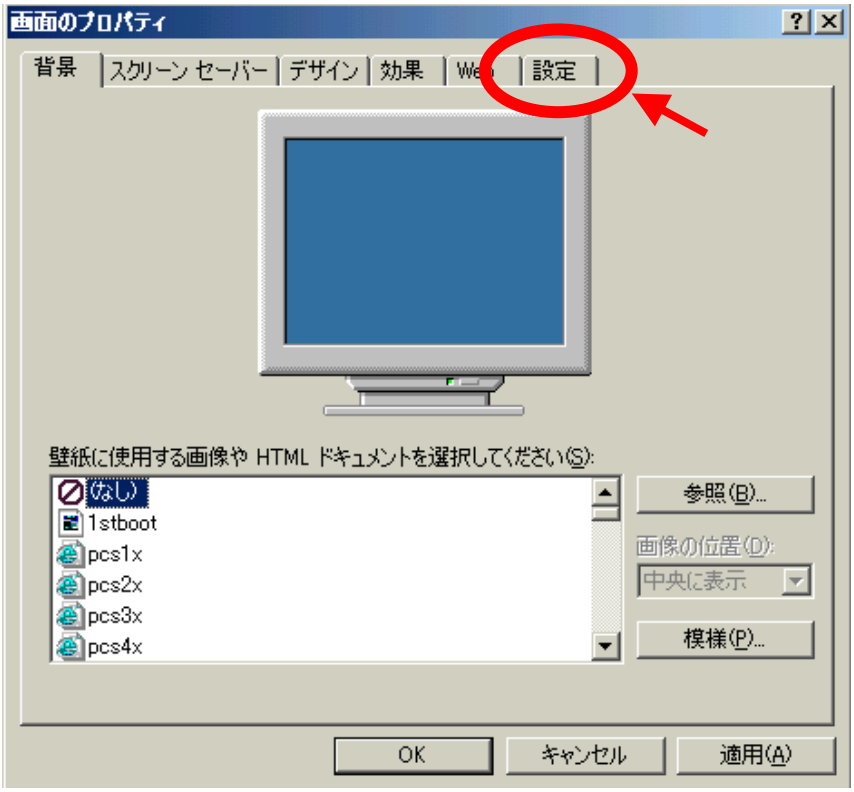


図1.1-3

(4)[詳細(D)]ボタンをクリックしてください。

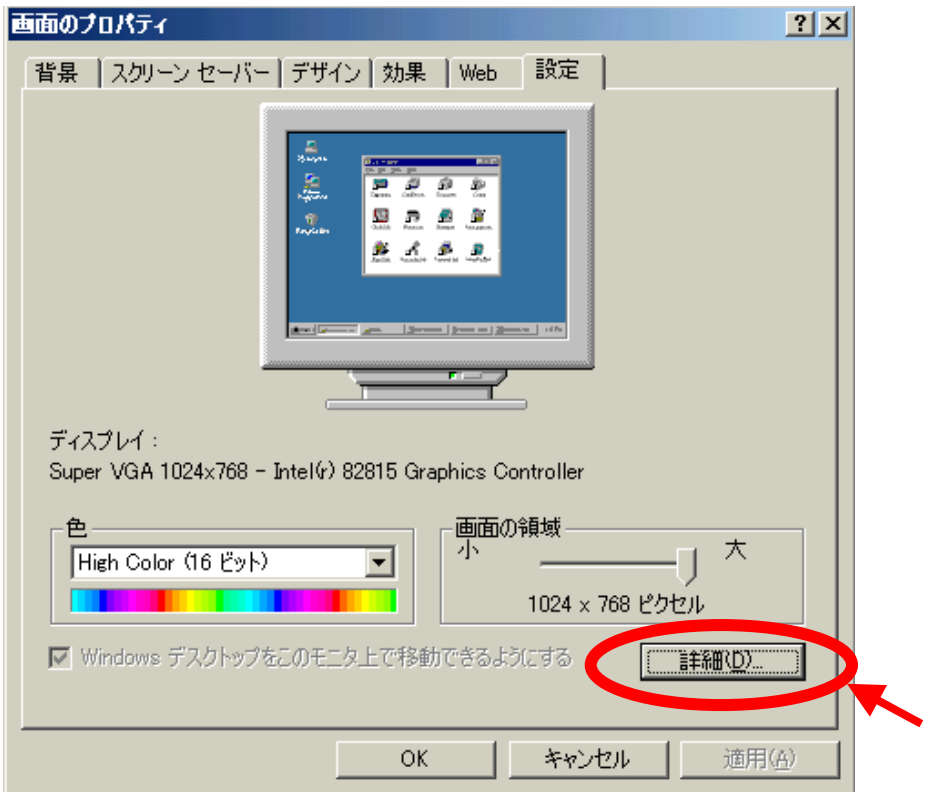


図1.1-4

(5)ディスプレイのフォントサイズ(F)を“小さいフォント”にし，[OK]ボタンをクリックしてください。

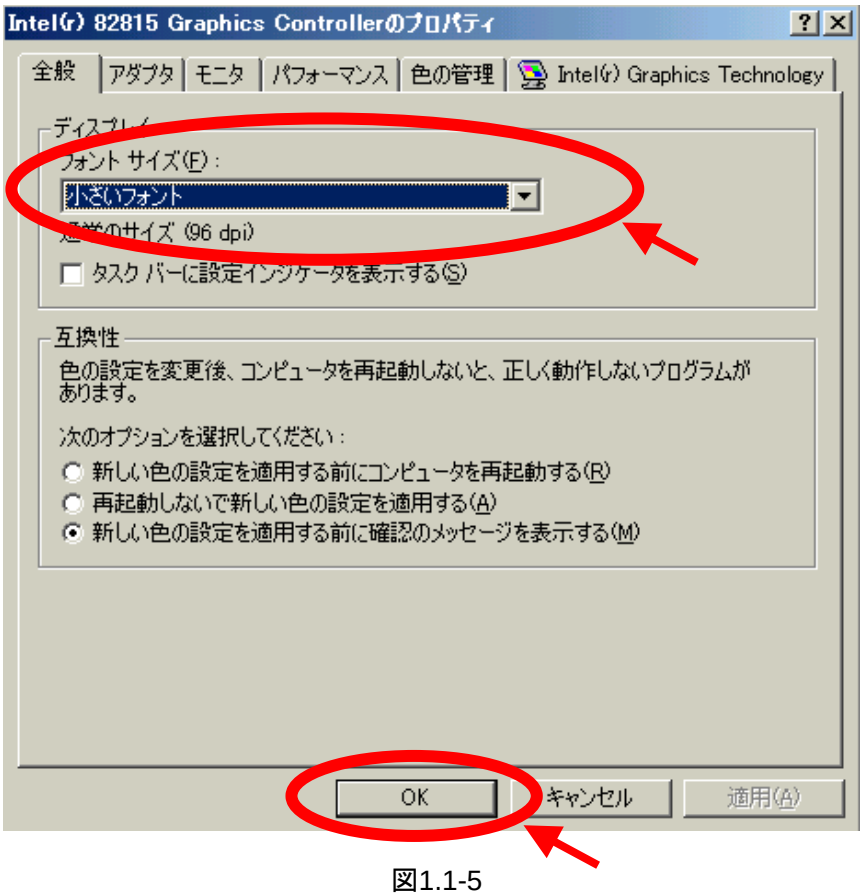


図1.1-5

(6)[閉じる]ボタンをクリックしてください。

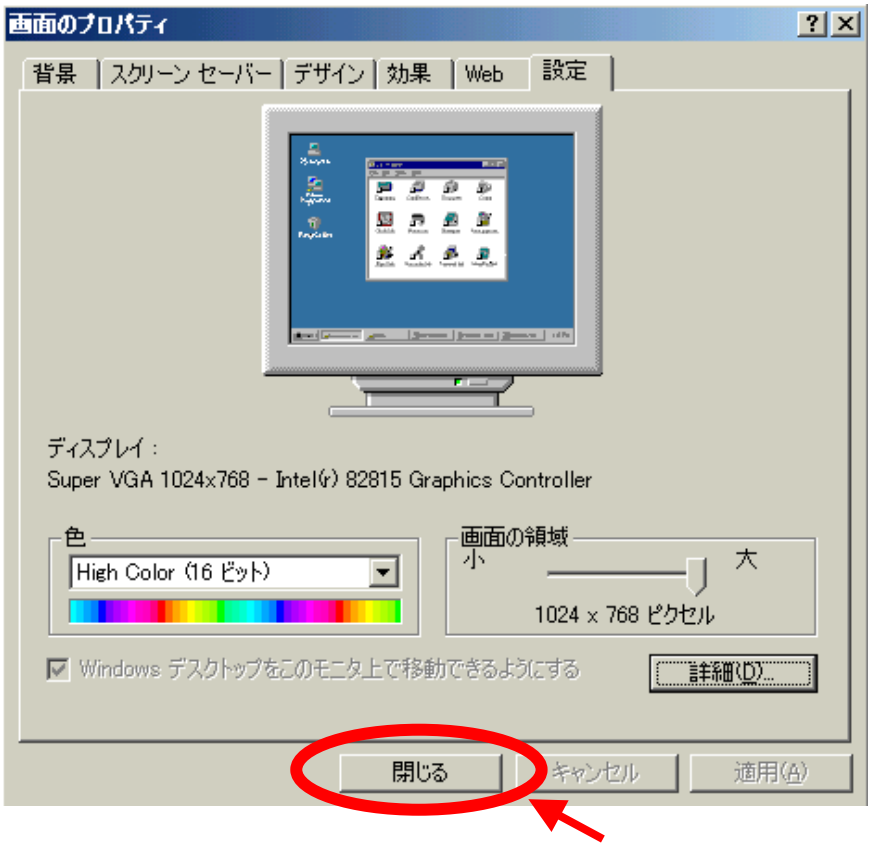


図1.1-6

(7)[はい(Y)]ボタンをクリックしてください。

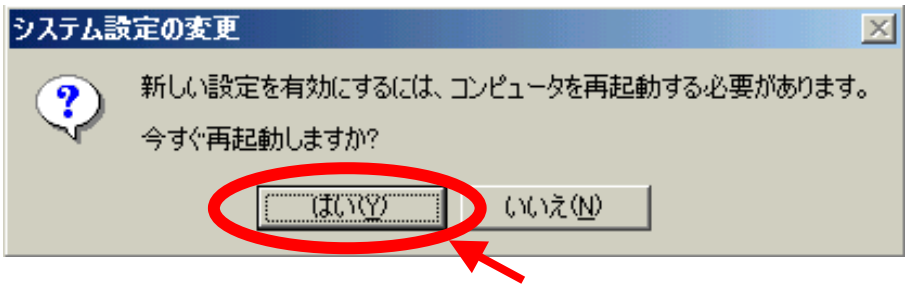


図1.1-7

(8) システムの再起動後，フォントが“**小さいフォント**”に設定されます。

1.2 インストール手順

インストールを始める前に，他に起動しているアプリケーションを全て終了してください。
フォントを“小さいフォント”に設定してください。(➡P.3～6)

パソコンのドライブ構成は下記の通りです。
本書は，Dドライブにダウンロード，解凍したことを前提に，セットアップの方法を説明します。
お使いの環境に合わせてドライブを指定してください。
Aドライブ: フロッピーディスク
Cドライブ: ハードディスク
Dドライブ: ハードディスク
Eドライブ: CD-ROM

ダウンロードしたフォルダ内には，2種類のインストールファイルが収められています。

・SWM-NCL01M_Vxxx.msi [Win2000フォルダ内]

モニタソフトのインストール実行ファイルです。

Windows Me/2000/XP の場合使用してください。

インストール手順(➡P.7～12)

・setup.exe [Win98-English / Win98-Japaneseフォルダ内]

モニタソフトのインストール実行ファイルです。

Windows 98/NT4.0 の場合または上記ファイルでインストールできない場合使用してください。

インストール手順(➡P.12～17)

Windows Me/2000/XP の場合

(1)スタートメニューから，[**ファイル名を指定して実行(R)**]を選択しクリックしてください。



図1.2-1

(2) [参照(B)]ボタンをクリックしてください。

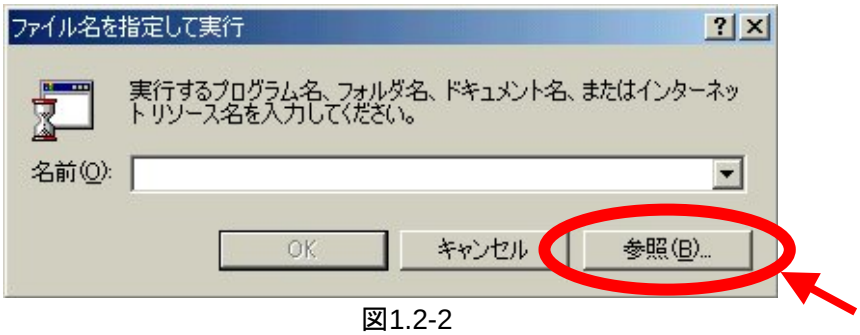


図1.2-2

(3) ファイルの場所(I)ダイアログボックスから "ローカルディスク (D:)"を選択してください。
"SWM-NCL01M_Vxxx" - "Win2000"フォルダを選択してください。
ファイルの種類(T)を"すべてのファイル"に設定してください。
ファイル"SWM-NCL01M_Vxxx.msi"を選択し，[開く(O)]ボタンをクリックしてください。

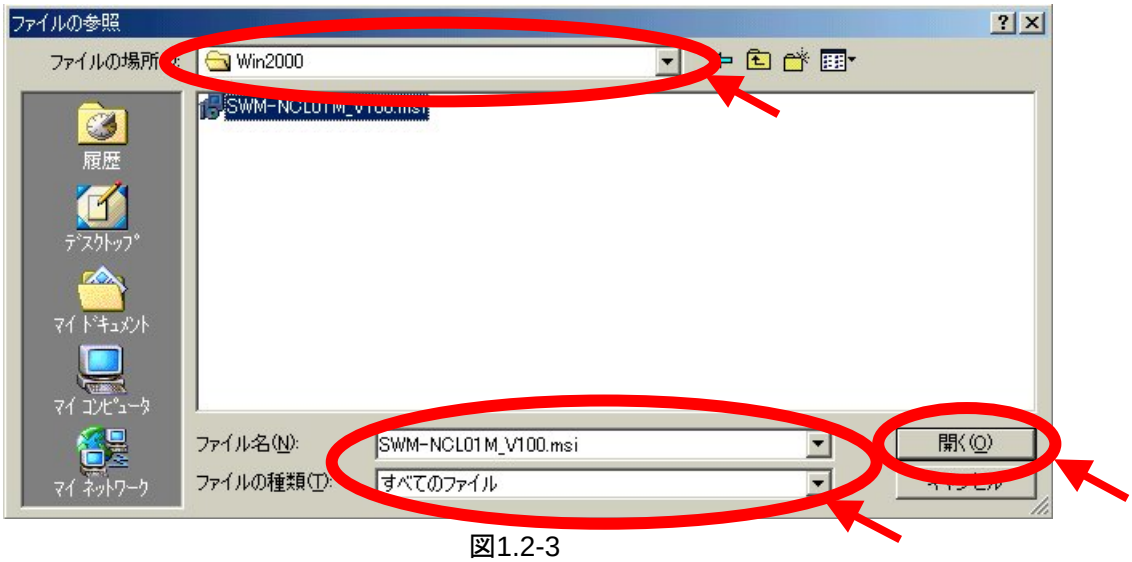


図1.2-3

(4) [OK]ボタンをクリックしてください。
SWM-NCL01M_Vxxx セットアップウィザードを表示します。

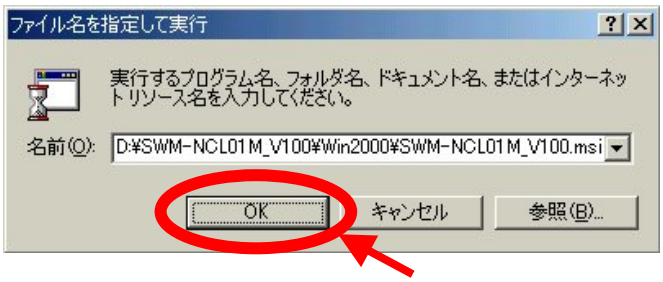


図1.2-4

(5) [Next]ボタンをクリックしてください。
インストールを中止，終了したい場合，[Cancel]ボタンをクリックしてください。

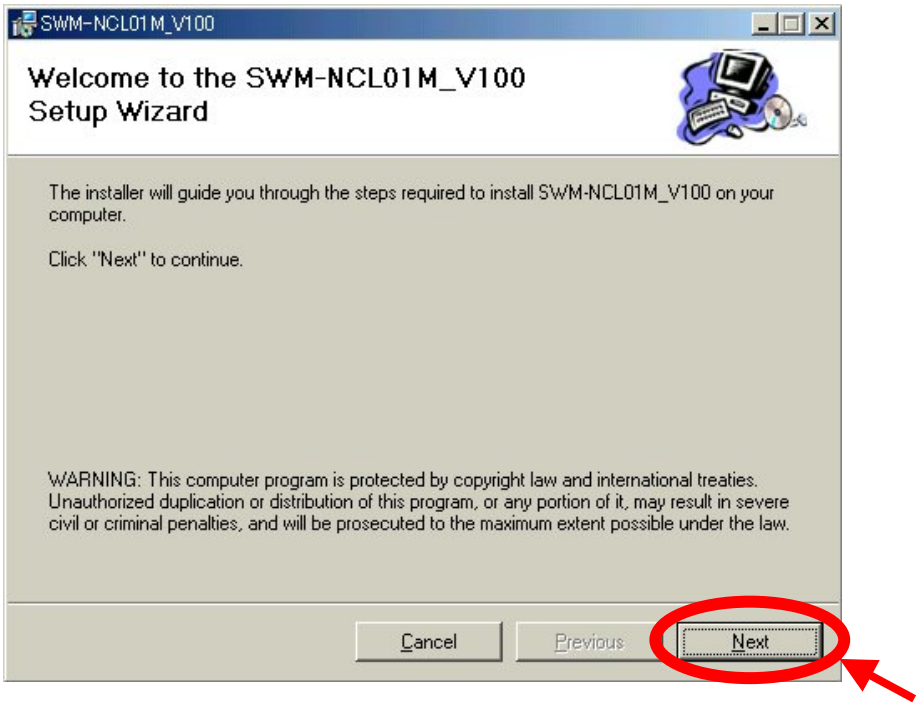


図1.2-5

(6) インストール先のドライブ名とフォルダ (ディレクトリ) 名を確認してください。
最初は"C:¥Program Files¥SWM-NCL01M_Vxxx¥"にインストールするよう指定されています。
上記インストール先でよければ，[Next]ボタンをクリックしてください。
インストールを中止，終了したい場合，[Cancel]ボタンをクリックしてください。
前画面に戻りたい場合，[Previous]ボタンをクリックしてください。

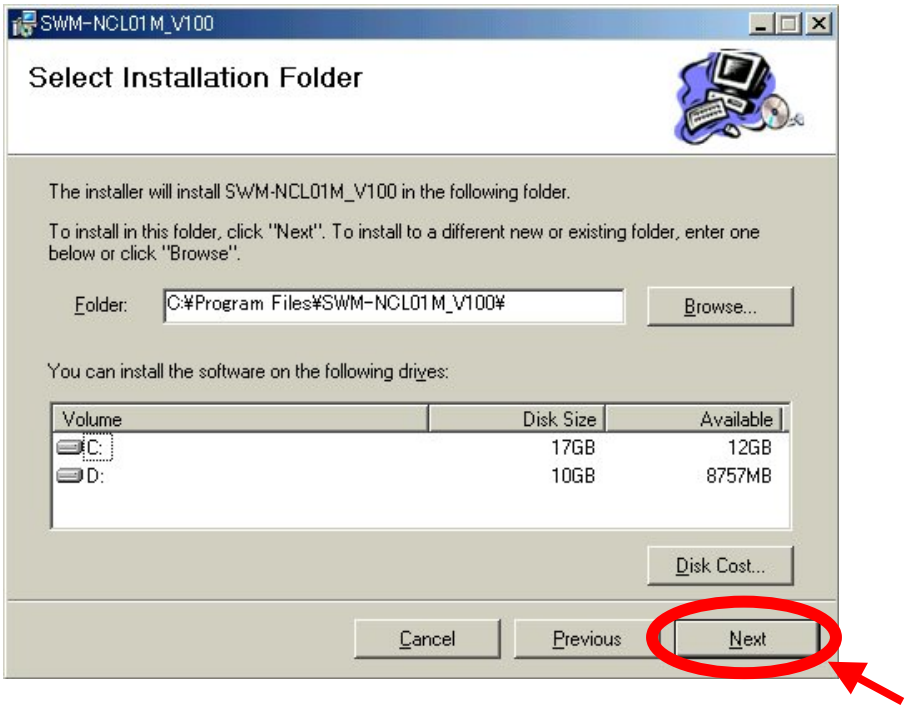


図1.2-6

インストール先の変更画面

インストール先を変更したい場合，[Browse]ボタンをクリックしてください。

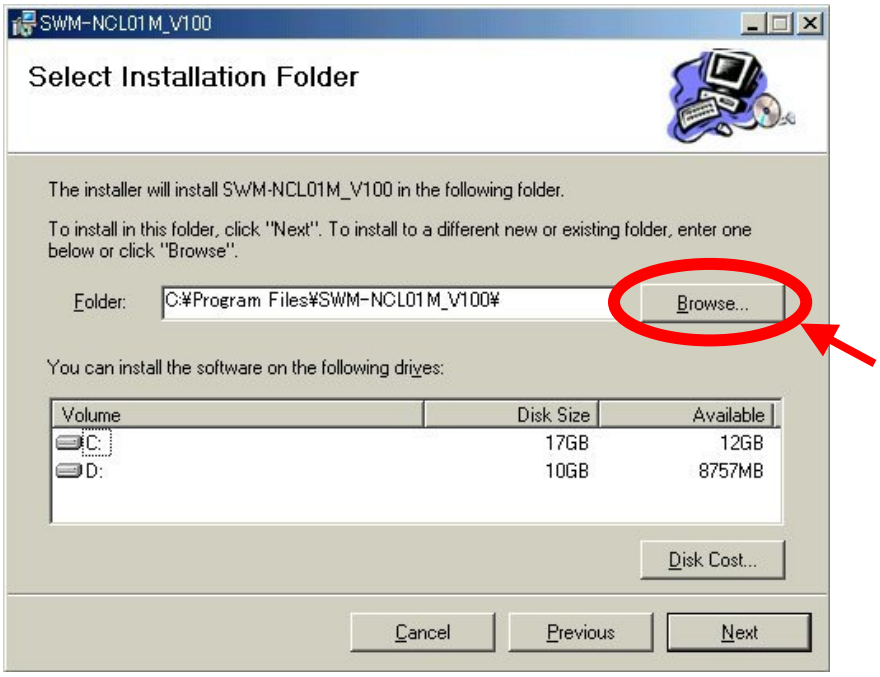


図1.2-7

ドライブ名とフォルダ(ディレクトリ)名を指定し，[OK]ボタンをクリックしてください。
何の操作もせず，前画面に戻りたい場合，[Cancel]ボタンをクリックしてください。

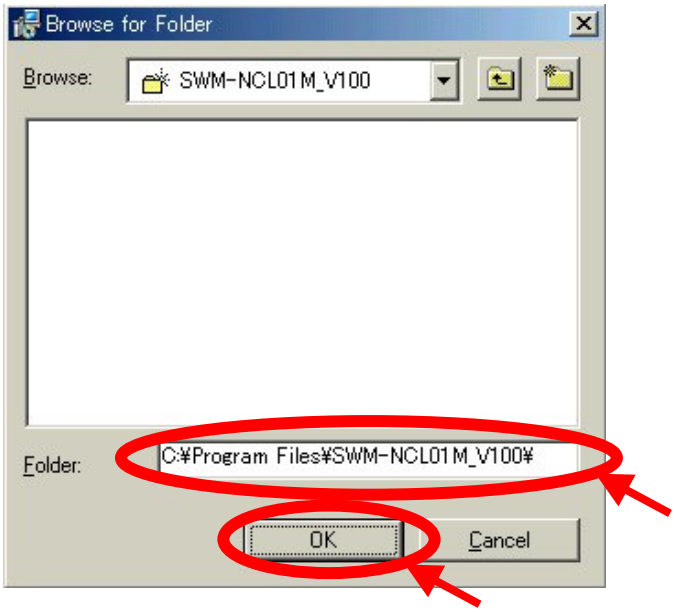


図1.2-8

(7)インストールの確認画面が表示されます。

[Next]ボタンをクリックしてください。

インストールを中止する場合，[Cancel]ボタンをクリックしてください。

前画面に戻りたい場合，[Previous]ボタンをクリックしてください。

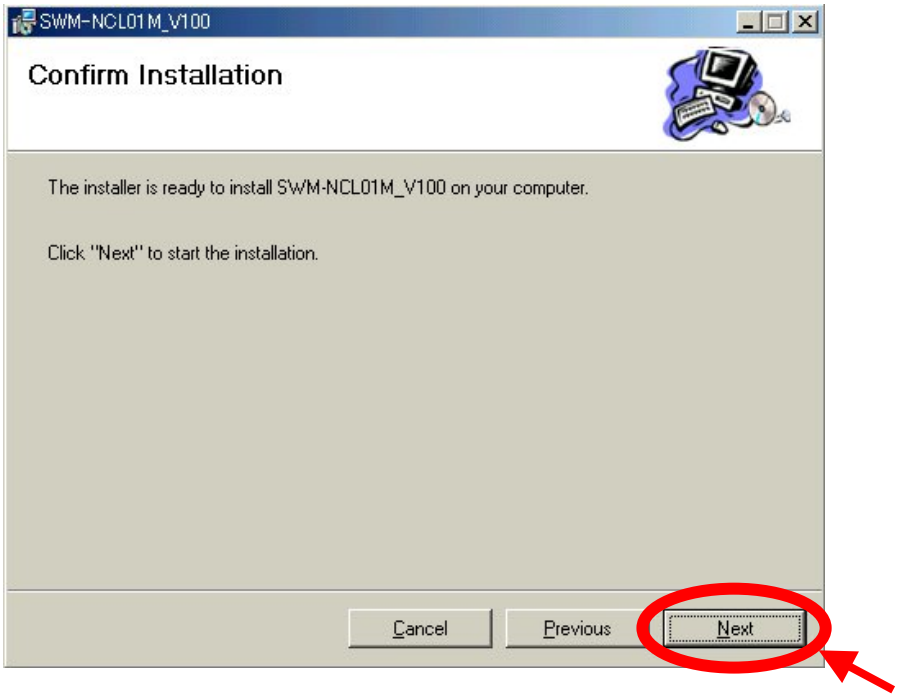


図1.2-9

(8)ファイルをコピーする状況をバーグラフで表示します。

インストールを中止する場合，[Cancel]ボタンをクリックしてください。

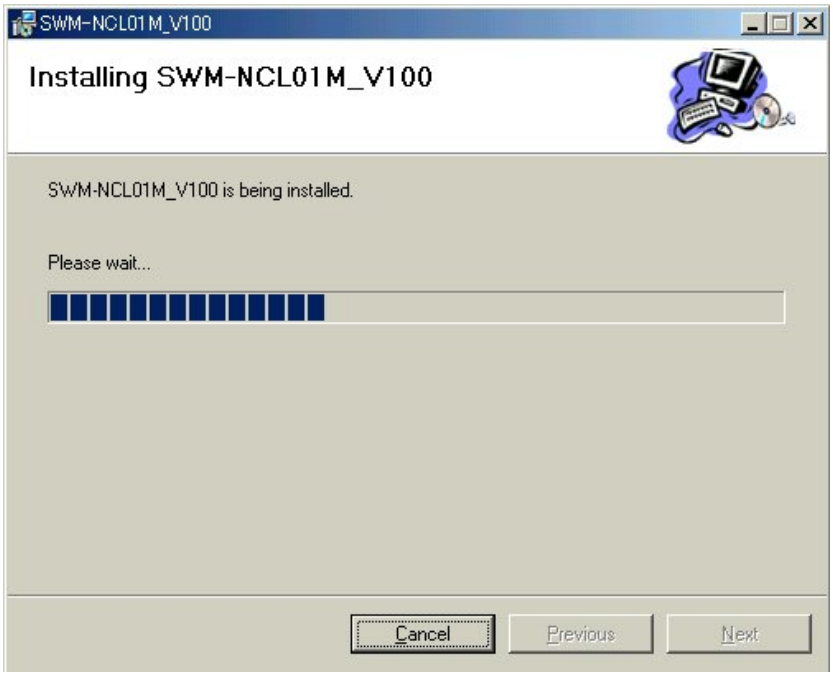


図1.2-10

(9)インストールが完了すると，以下の画面を表示します。

[Close]ボタンをクリックしてください。

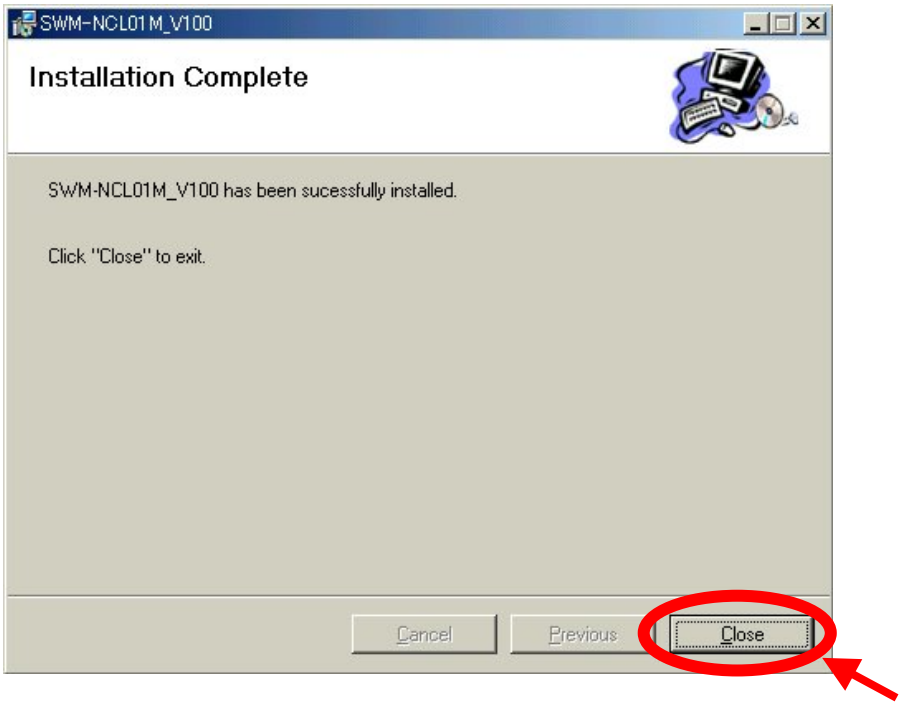


図1.2-11

Windows 98/NT4.0 の場合

(1)スタートメニューから，[ファイル名を指定して実行(R)]を選択しクリックしてください。



図1.2-12

(2)[参照(B)]ボタンをクリックしてください。

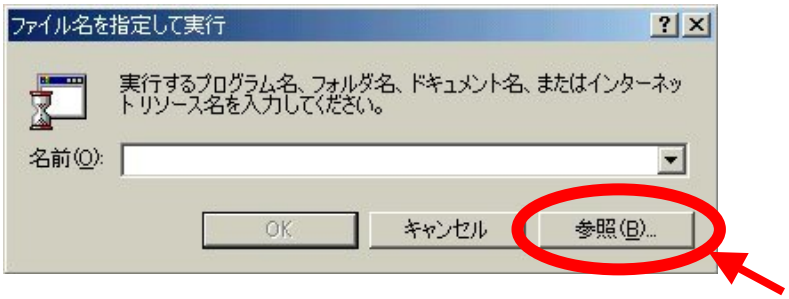


図1.2-13

(3) ファイルの場所(I)ダイアログボックスから "ローカルディスク (D:)" を選択してください。
"SWM-NCL01M_Vxxx" - "Win98"フォルダを選択してください。

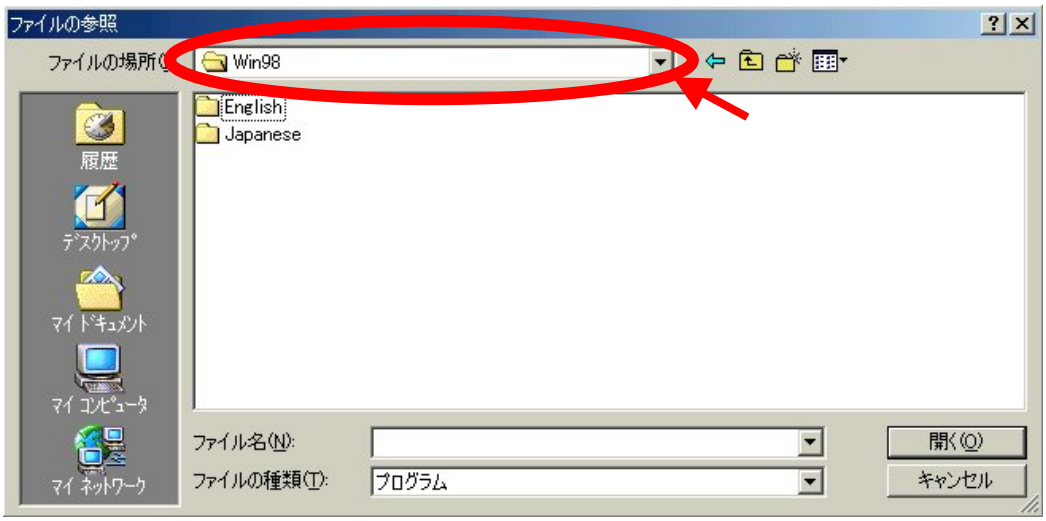


図1.2-14

(4) "Japanese"フォルダを選択してください。
セットアップファイル"setup.exe"を選択し，[開く(O)]ボタンをクリックしてください。

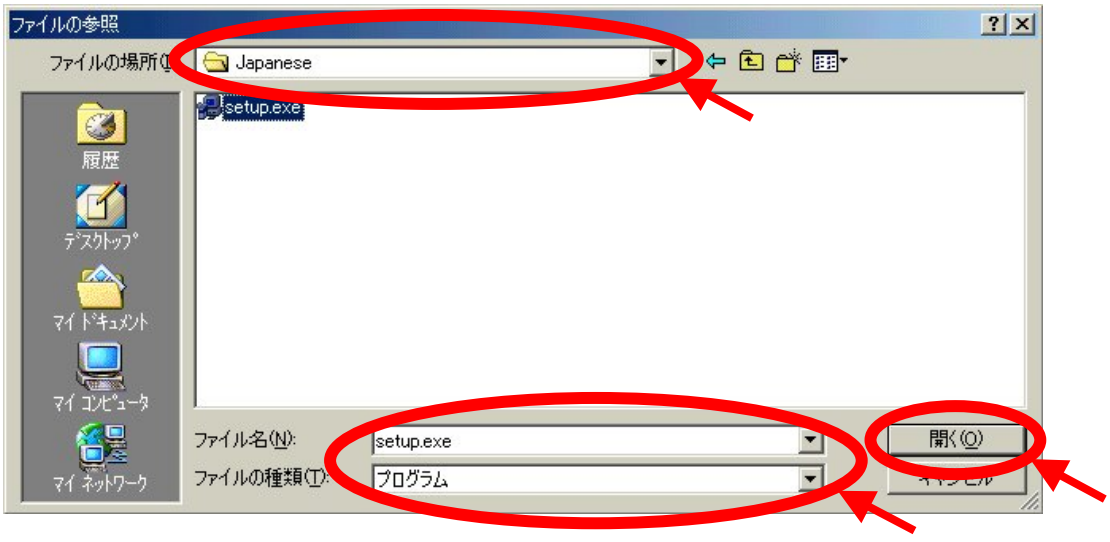


図1.2-15

(5) [OK]ボタンをクリックしてください。

SWM-NCL01M_Vxxx セットアップウィザードを表示します。

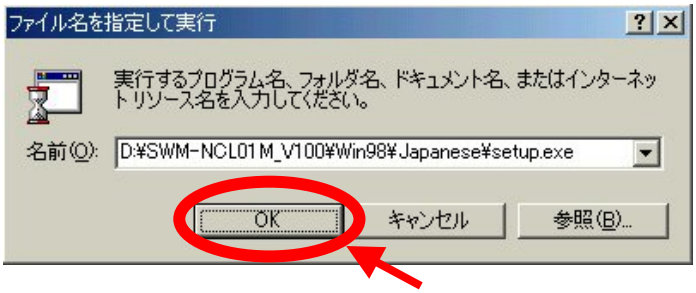


図1.2-16

(6) セットアップファイルをコピーしている間，以下のような画面を表示します。

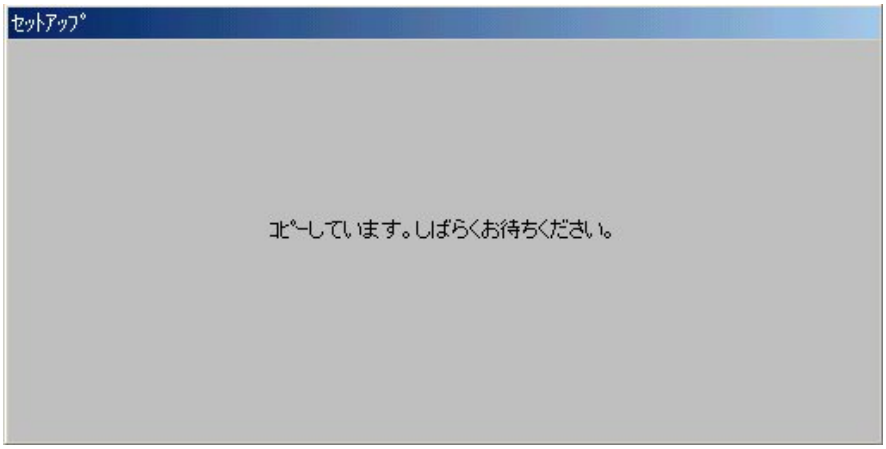


図1.2-17

(7) [OK]ボタンをクリックしてください。

インストールを中止，終了したい場合，[終了(X)]ボタンをクリックしてください。

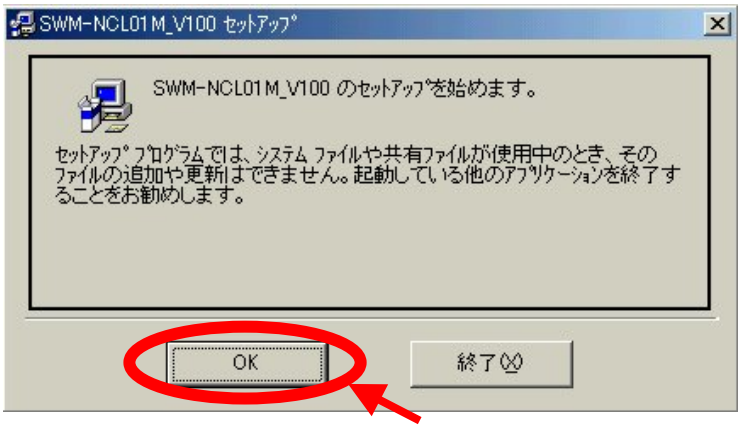


図1.2-18

(8)インストール先のドライブ名とフォルダ (ディレクトリ) 名を確認してください。

最初は"C:¥Program Files¥SWM-NCL01M_Vxxx¥”にインストールするよう指定されています。

上記インストール先でよければ，アイコンボタンをクリックしてください。

インストール先を変更したい場合，[**ディレクトリ変更(C)**]ボタンをクリックしてください。

インストールを中止，終了したい場合，[**終了(X)**]ボタンをクリックしてください。

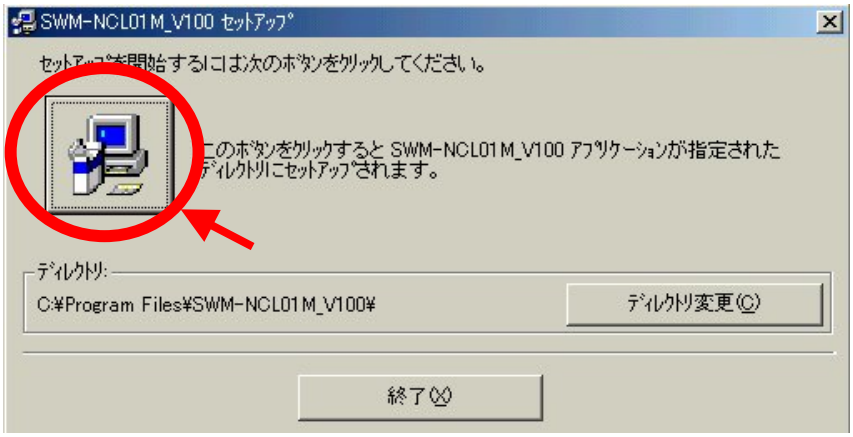


図1.2-19

インストール先の変更画面

ドライブ名とフォルダ(ディレクトリ)名を指定し，[OK]ボタンをクリックしてください。

何の操作もせず，前画面に戻りたい場合，[**キャンセル**]ボタンをクリックしてください。

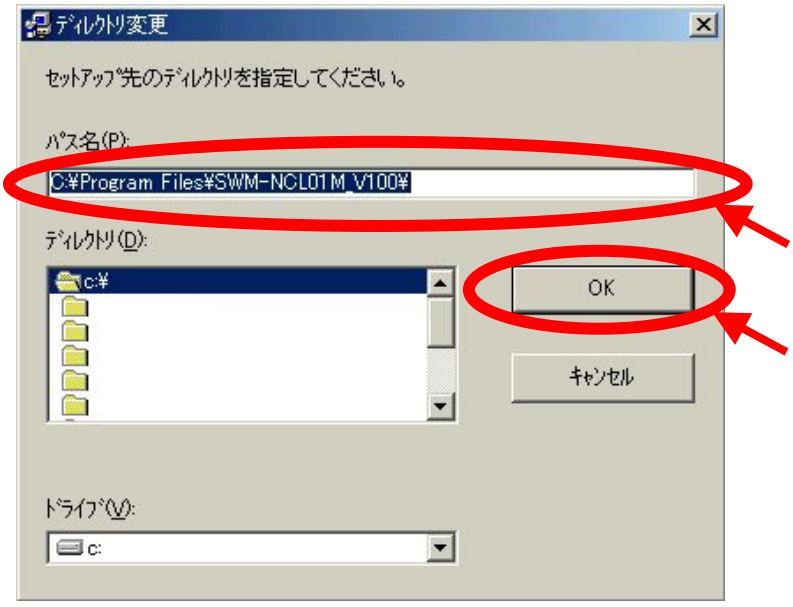


図1.2-20

(9) モニタソフトのプログラムグループを選択してください。

最初は"SHINKO TECHNOS"グループに指定されています。

上記グループでよければ，[**継続(C)**]ボタンをクリックしてください。

グループ名を変更したい場合，新しいグループ名を入力するか，既存のグループリストから選択してください。

インストールを中止，終了したい場合，[**キャンセル**]ボタンをクリックしてください。

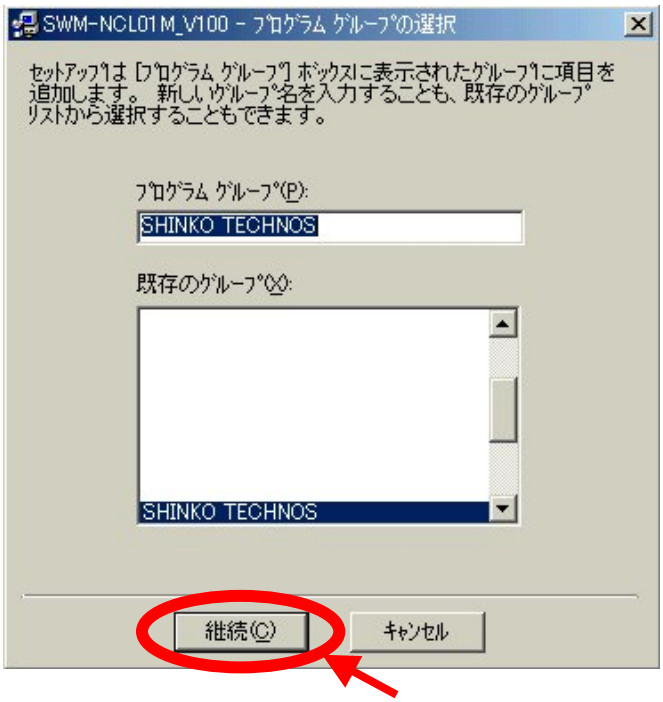


図1.2-21

(10) ファイルをコピーする状況をバーグラフで表示します。

インストールを中止する場合，[**キャンセル**]ボタンをクリックしてください。



図1.2-22

(11) インストールが完了すると，以下の画面を表示します。

[OK]ボタンをクリックしてください。

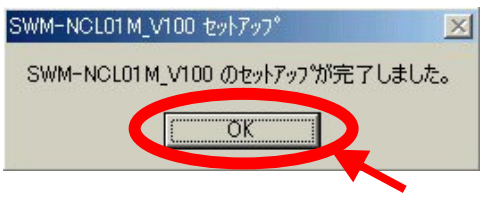


図1.2-23

・インストール中のエラーメッセージについて

インストール中，以下の画面を表示することがあります。

これはインストールファイルに含まれているシステムファイルが，パソコンのシステムファイルより古いかまたは同じ日付のため表示するエラーメッセージです。

[はい(Y)]ボタンをクリックしてください。

インストールを続けます。



図1.2-24

1.3 アンインストール手順

ハードディスクから，モニタソフトの関連ファイルを削除する手順について説明します。

(1) **スタートメニュー**から，[**設定(S)**] - [**コントロールパネル(C)**]を選択しクリックしてください。

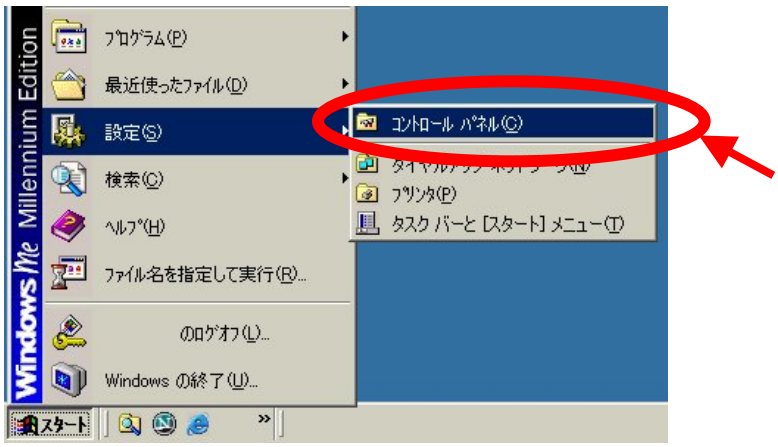


図1.3-1

(2)　　[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックしてください。

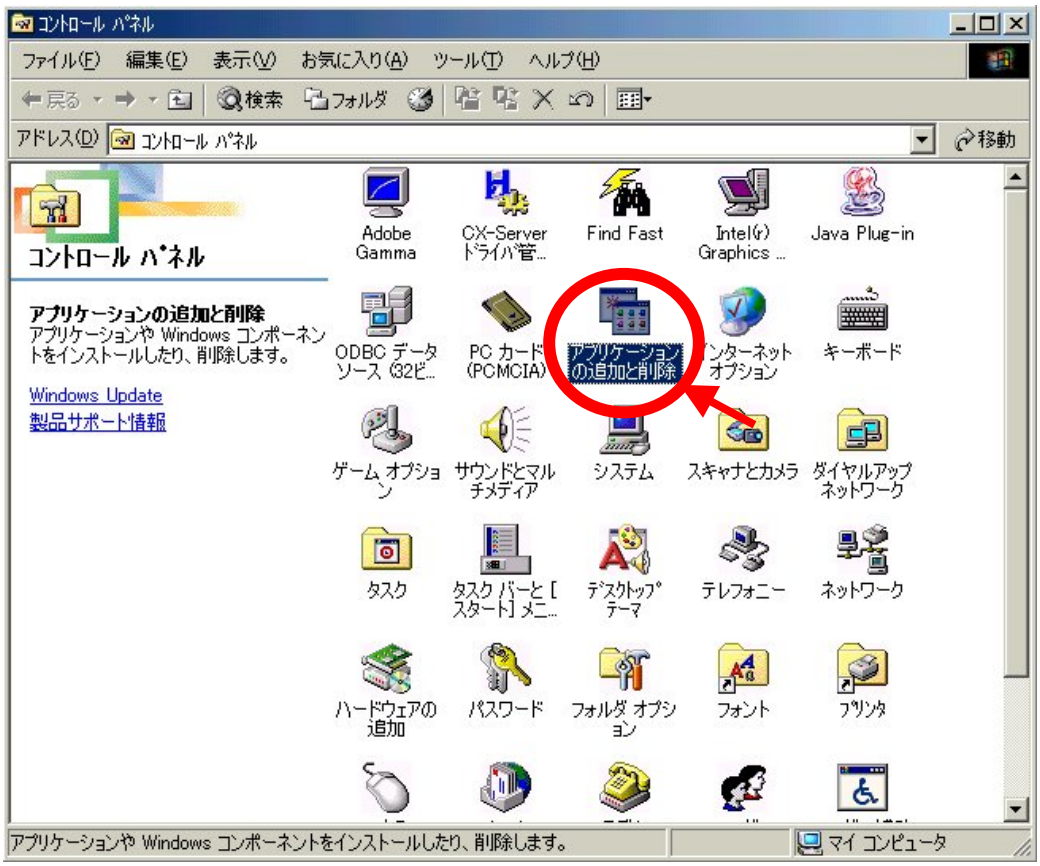


図1.3-2

(3)アプリケーションのリストで“SWM-NCL01M_Vxxx”をクリックまたはカーソルで選択して[追加と削除(R)]ボタンをクリックしてください。

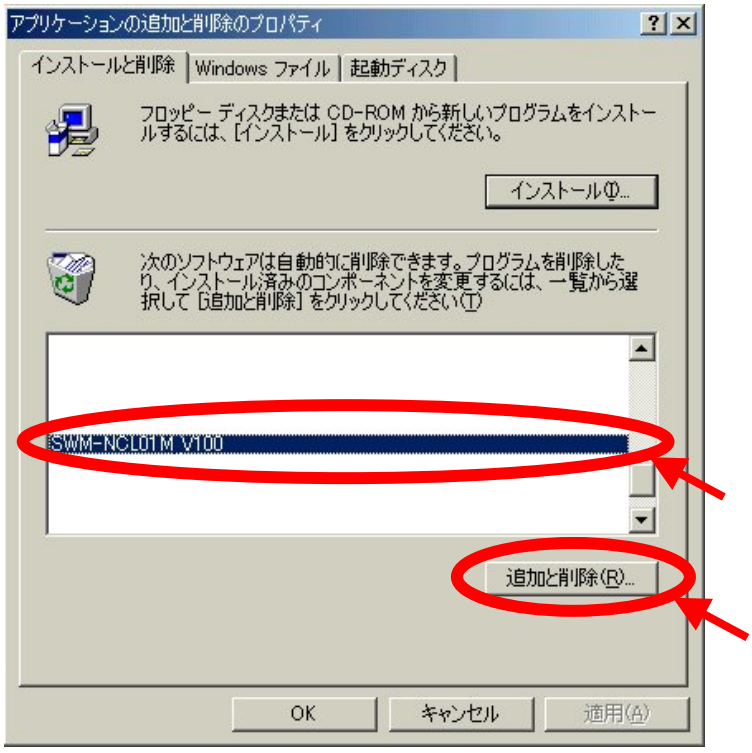


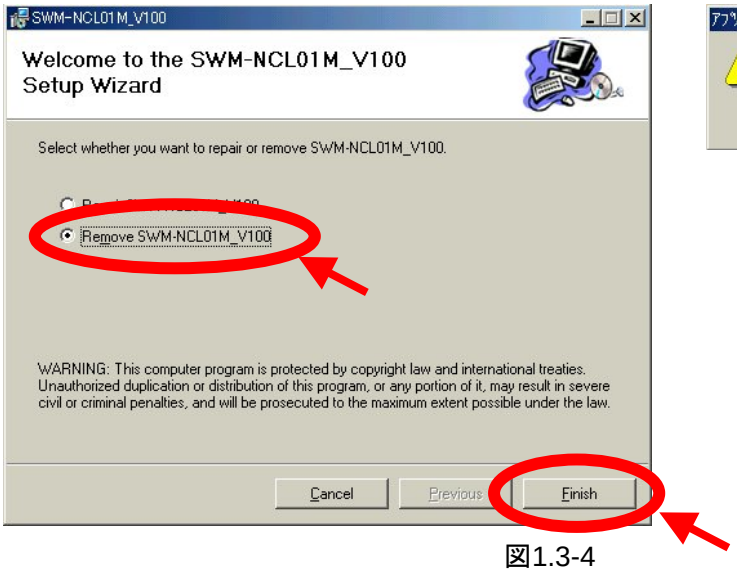
図1.3-3

(4) 削除の確認ダイアログを表示します。

"SWM-NCL01M_Vxxx.msi"でインストールした場合，[Remove SWM-NCL01M_Vxxx]を選択し，[Finish]ボタンをクリックしてください。

"setup.exe"でインストールした場合，[はい(Y)]ボタンをクリックしてください。

"SWM-NCL01M_Vxxx.msi"でインストールした場合



"setup.exe"でインストールした場合

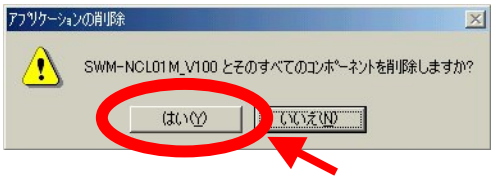
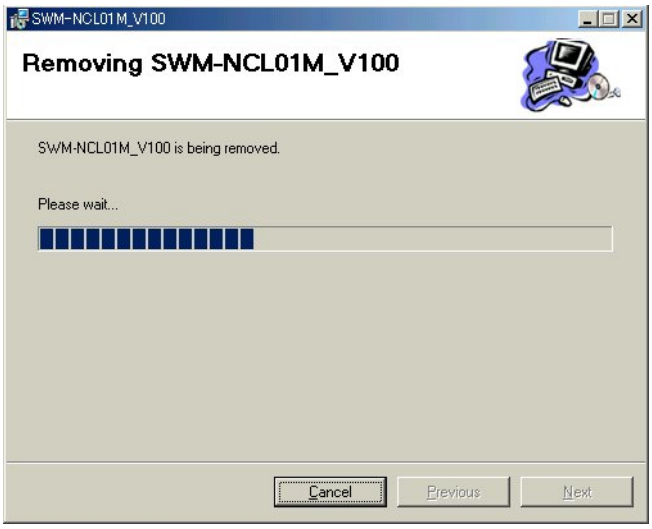


図1.3-4

(5) アンインストールの状況をバーグラフで表示します。

アンインストールを中止する場合，[Cancel]ボタンをクリックしてください。



下記のような画面を表示した場合，[OK]ボタンをクリックしてください。

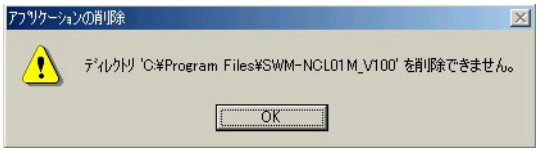


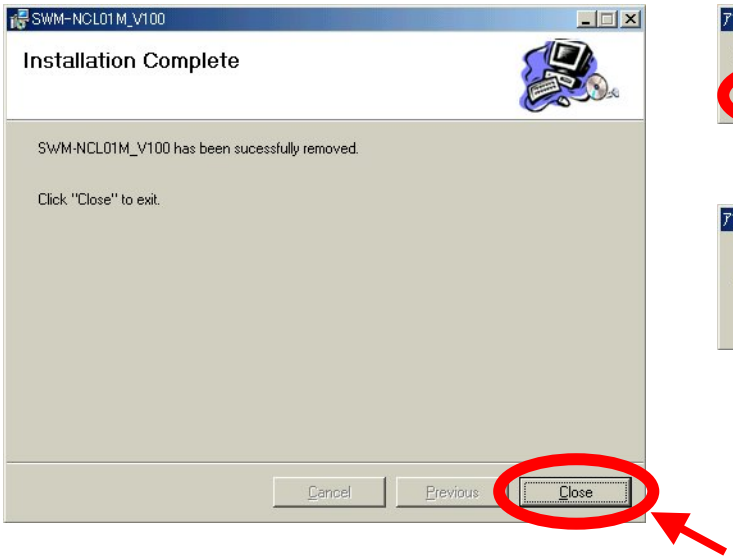
図1.3-5

(6) アンインストールが正常に終了した場合，以下の画面を表示します。

"SWM-NCL01M_Vxxx.msi"でインストールした場合，[Close]ボタンをクリックしてください。

"setup.exe"でインストールした場合，[OK]ボタンをクリックしてください。

"SWM-NCL01M_Vxxx.msi"でインストールした場合



"setup.exe"でインストールした場合

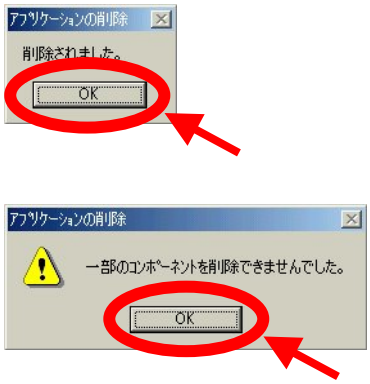


図1.3-6

一部のコンポーネントが削除されない場合

アンインストール中，下記のような画面を表示し，一部のコンポーネントを削除できない場合があります。完全に削除したい場合，エクスプローラでフォルダ毎削除してください。

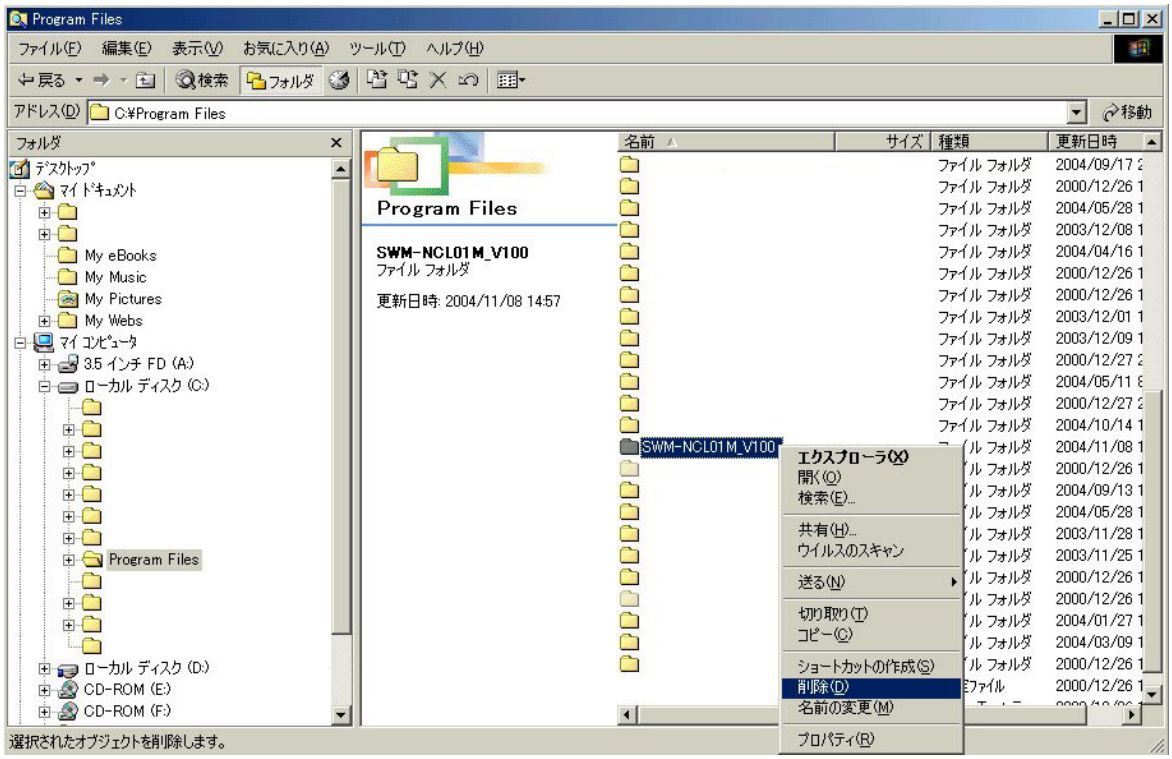


図1.3-7

2. モニタソフトの起動と終了

2.1 パソコン- NCL-13A 間の配線

> **⚠ 注　意**
>
> モニタソフトを起動する前に，NCL-13A取扱説明書の"操作"の項を参照して，下記設定を確認してください。
> ・機器番号は，必ず" 0 "番から順に個別に設定してください。
> " 0 "番の計器がないと，モニタソフトは起動しません。
>
> ・通信速度は，パソコン，通信変換器に合わせて設定してください。(19200bpsを推奨)

パソコン - NCL-13A 間の配線は，NCL-13A取扱説明書の"配線"の項を参照してください。

●配線例1

・IF-400を通信変換器として使用した場合，NCL-13Aを最大31台接続できます。

Dサブ9ピンコネクタの場合　　Dサブ25ピンコネクタの場合

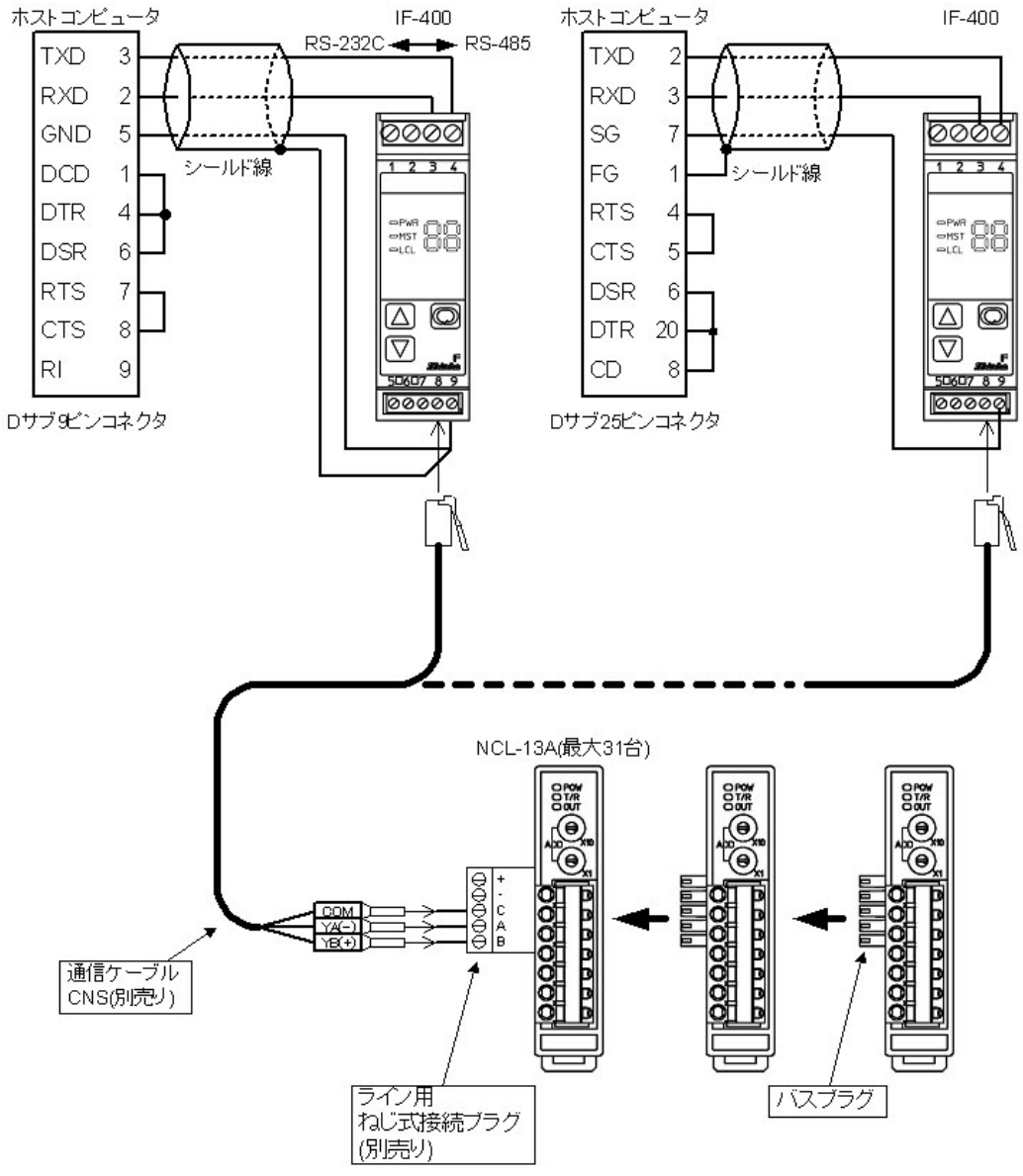


図2.1-1

●配線例2

・IF-400をリピータとして使用した場合，NCL-13Aを32台以上接続できます。
また，通信ラインを1.2km以上延長できます。
リピータは最大3台，NCL-13Aはアドレス数制限95台まで接続できます。(通信ラインは最大4.8km)

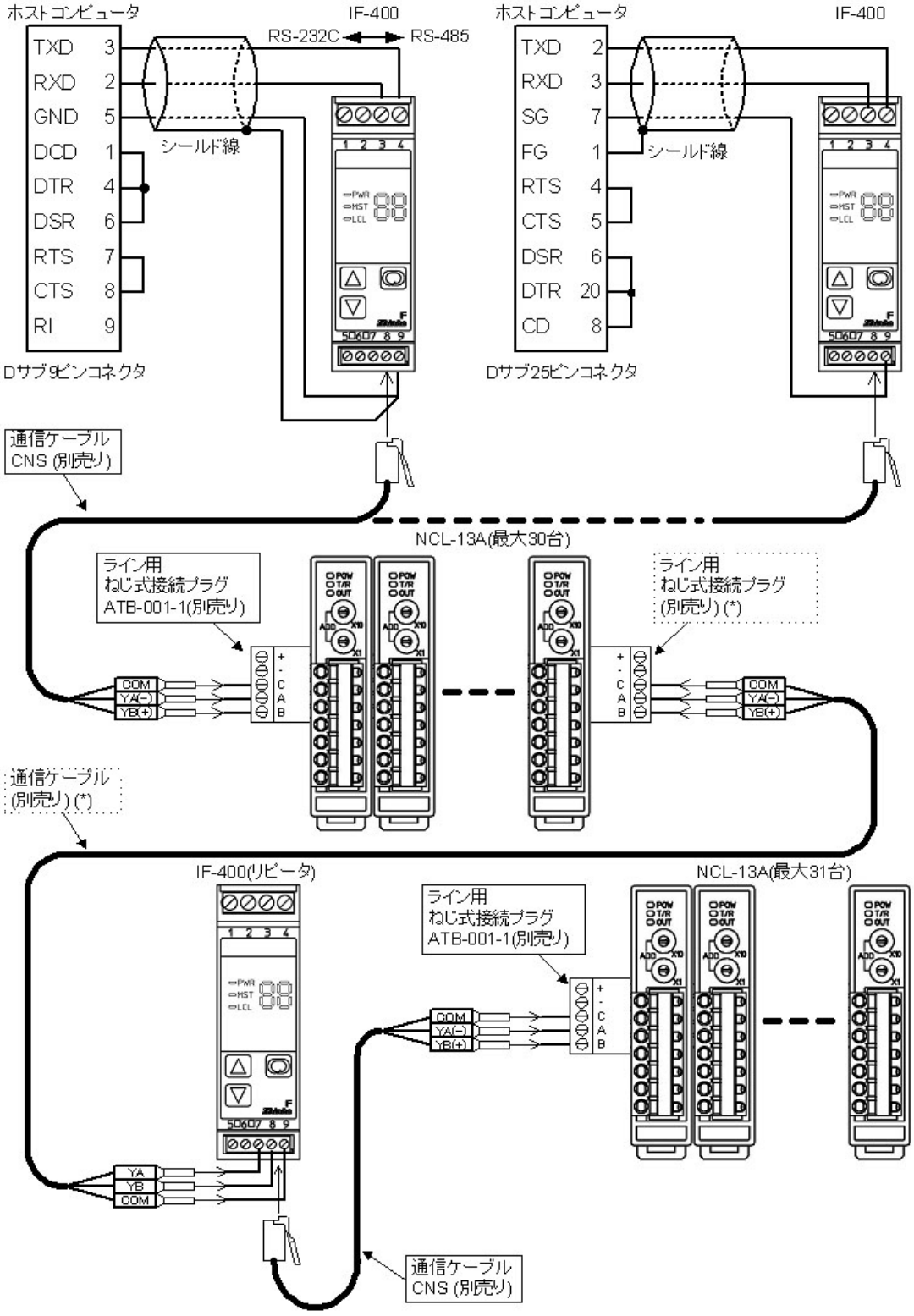


図2.1-2

(*): NCL-13AからIF-400(リピータ)へ接続するためのライン用ねじ式接続プラグおよび通信ケーブルは，弊社営業所または出張所へお問い合わせください。

2.2 モニタソフトの起動

(1) パソコンの通信ポートに通信ケーブルが接続されていることを確認してください。

"SWM-NCL01M_Vxxx.msi"でインストールした場合，**スタートメニュー**から[SHINKO TECHNOS] - [Shortcut to SWM-NCL01M_Vxxx.exe]を選択しクリックしてください。

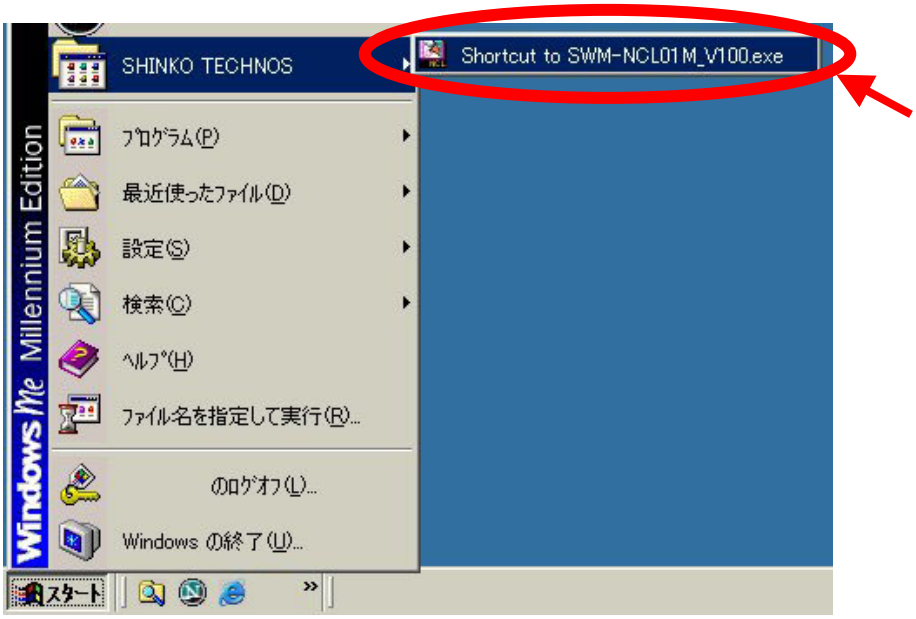


図2.2-1

"setup.exe"でインストールした場合，**スタートメニュー**から[**プログラム(P)**] - [SHINKO TECHNOS] - [SWM-NCL01M_Vxxx.exe]を選択しクリックしてください。



図2.2-2

(2) モニタソフトオープニング画面を表示し，NCL-13Aのデータを読込みます。

通信条件設定画面を表示した場合，通信ポートおよび通信速度を選択し，[OK]ボタンをクリックしてください。



図2.2-3

(3) モニタソフトが起動します。

メイン画面

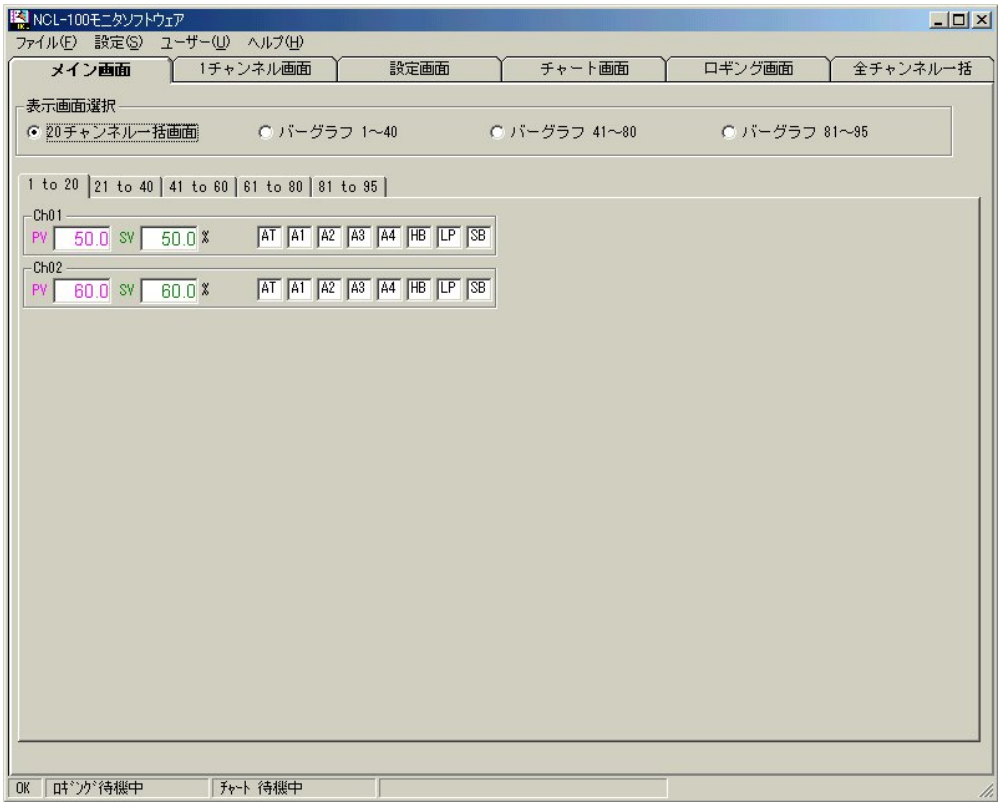


図2.2-4

2.3 モニタソフトの画面および操作

2.3.1 画面の切り替え

タブをクリックすると画面を切り替えることができます。

(1) メイン画面

NCL-13AのPV値，SV値，警報状態を20チャンネル毎にモニタする画面です。
接続台数分だけを表示します。
表示チャンネル切り替えタブをクリックすると，最大95チャンネル分を表示できます。
警報1，警報2，警報3，警報4を出力している場合，警報表示灯は警報表示色設定(➡P.38)で設定した色で表示します。その他の警報は，赤色で表示します。

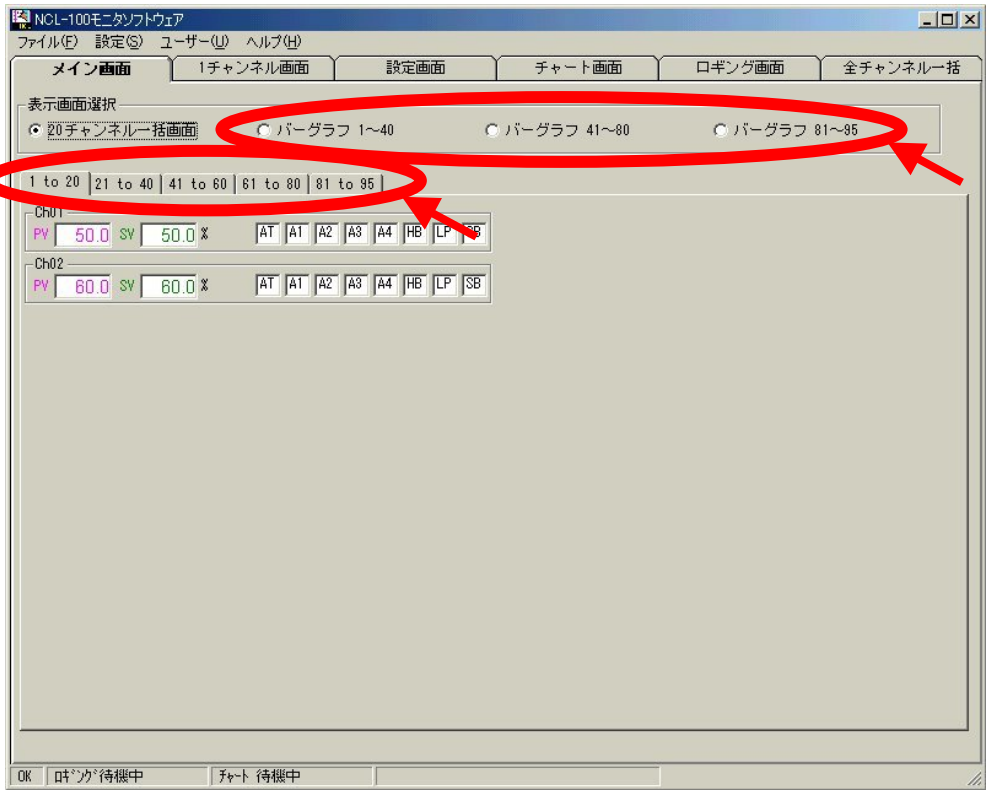


図2.3.1-1

操作説明

表示チャンネル切り替えタブをクリックすると20チャンネル毎に切り替えることができます。

[1 to 20]タブ　：機器番号0～19に設定されているNCL-13Aのデータを表示します。
[21 to 40]タブ　：機器番号20～39に設定されているNCL-13Aのデータを表示します。
[41 to 60]タブ　：機器番号40～59に設定されているNCL-13Aのデータを表示します。
[61 to 80]タブ　：機器番号60～79に設定されているNCL-13Aのデータを表示します。
[81 to 95]タブ　：機器番号80～94に設定されているNCL-13Aのデータを表示します。

○ バーグラフ 1 ～ 40 : ○ をクリック(◉)すると，機器番号0～39に設定されているNCL-13Aのバーグラフ表示画面に切り替わります。
○ バーグラフ 41 ～80 : ○ をクリック(◉)すると，機器番号40～79に設定されているNCL-13Aのバーグラフ表示画面に切り替わります。
○ バーグラフ 81 ～95 : ○ をクリック(◉)すると，機器番号80～94に設定されているNCL-13Aのバーグラフ表示画面に切り替わります。

バーグラフ表示画面

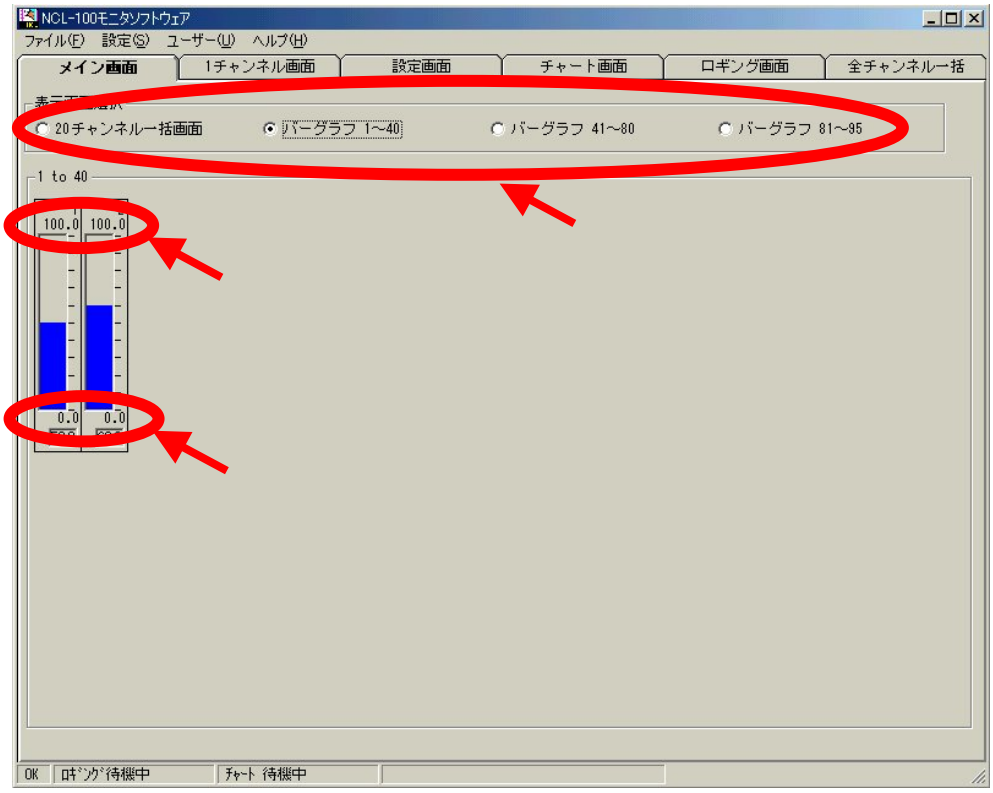


図2.3.1-2

バーグラフ表示は，上からチャンネル番号，スケーリング上限値，バーグラフ，スケーリング下限値，PV値を表示します。バーグラフの色は，次のようになります。

青: 正常時。

赤: 警報1，警報2，警報3，警報4を出力している場合，警報表示灯は警報表示色設定(➡P.38)で設定した色で表示します。その他の警報は，赤色で表示します。

警報が解除されると青色に切り替わります。

操作説明

○ をクリック(◉)すると，40チャンネル毎に切り替えることができます。
NCL-13Aが接続されていない場合，何も表示しません。

○ **バーグラフ 1 ～ 40** : ○ をクリック(◉)すると，機器番号0～39に設定されている NCL-13Aのバーグラフ表示画面に切り替わります。

○ **バーグラフ 41 ～80** : ○ をクリック(◉)すると，機器番号40～79に設定されている NCL-13Aのバーグラフ表示画面に切り替わります。

○ **バーグラフ 81 ～95** : ○ をクリック(◉)すると，機器番号80～94に設定されている NCL-13Aのバーグラフ表示画面に切り替わります。

○ **20チャンネル一括画面** : ○ をクリック(◉)すると，メイン画面に切り替わります。

バーグラフ上の設定 : バーグラフ上の値をマウスで左クリックすると，スケーリング上限，下限が変更できます。

(2) 1 チャンネル画面

表示チャンネル名選択で選択したNCL-13A 1台の全項目をモニタする画面です。
警報1，警報2，警報3，警報4を出力している場合，警報表示灯は警報表示色設定(➡P.38)で設定した色で表示します。その他の警報は，赤色で表示します。

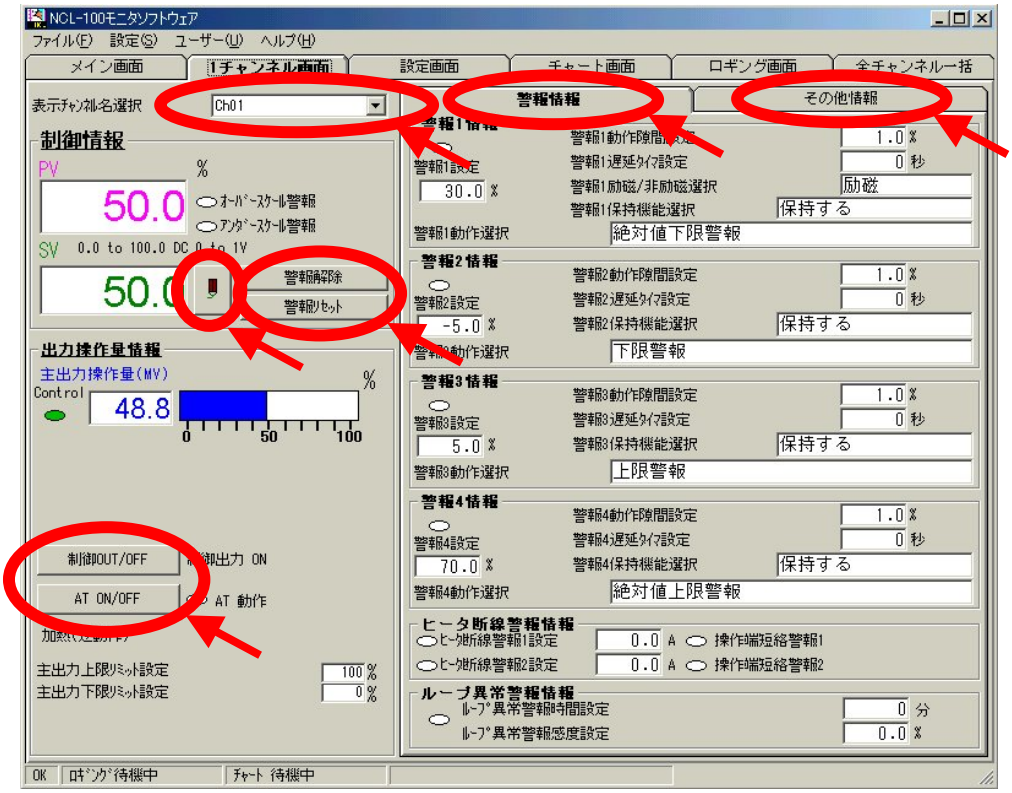


図2.3.1-3

操作説明

[表示チャンネル名選択] ：▼ボタンをクリックし，表示したいチャンネルを選択してください。NCL-13Aが接続されていないチャンネルを選択した場合，「このチャンネルにはNCL-13Aが接続されていません」とのメッセージを表示します。

[SV設定]ボタン ：このボタンをクリックすると，テンキーボードを表示します。SV設定値を入力し，[OK]ボタンをクリックしてください。

[警報解除]ボタン ：このボタンをクリックすると，警報状態および待機をリセットします。警報動作方式で待機付上限警報，待機付下限警報または待機付上下限警報を選択した場合，再度待機状態になります。

[警報リセット]ボタン ：このボタンをクリックすると，警報状態のみリセットします。

[制御OUT/OFF]ボタン ：制御実行中このボタンをクリックすると，制御出力OFF機能がはたらき，全ての出力をOFFにします。
再度クリックすると，制御出力OFF機能を解除し，制御実行状態に戻ります。

[AT ON/OFF]ボタン ：制御実行中このボタンをクリックすると，オートチューニングを実行します。
再度クリックすると，オートチューニングを解除します。

[警報情報]タブ ：警報1，警報2，警報3，警報4，ヒータ断線警報，ループ異常警報の情報を表示します。

[その他情報]タブ ：設定値ロック，P，I，D，ARW，比例周期などの情報を表示します。

(3) 設定画面

20チャンネル毎の各設定値を設定する画面です。
NCL-13Aが接続されていないチャンネルは，「未接続のチャンネル」と表示されます。

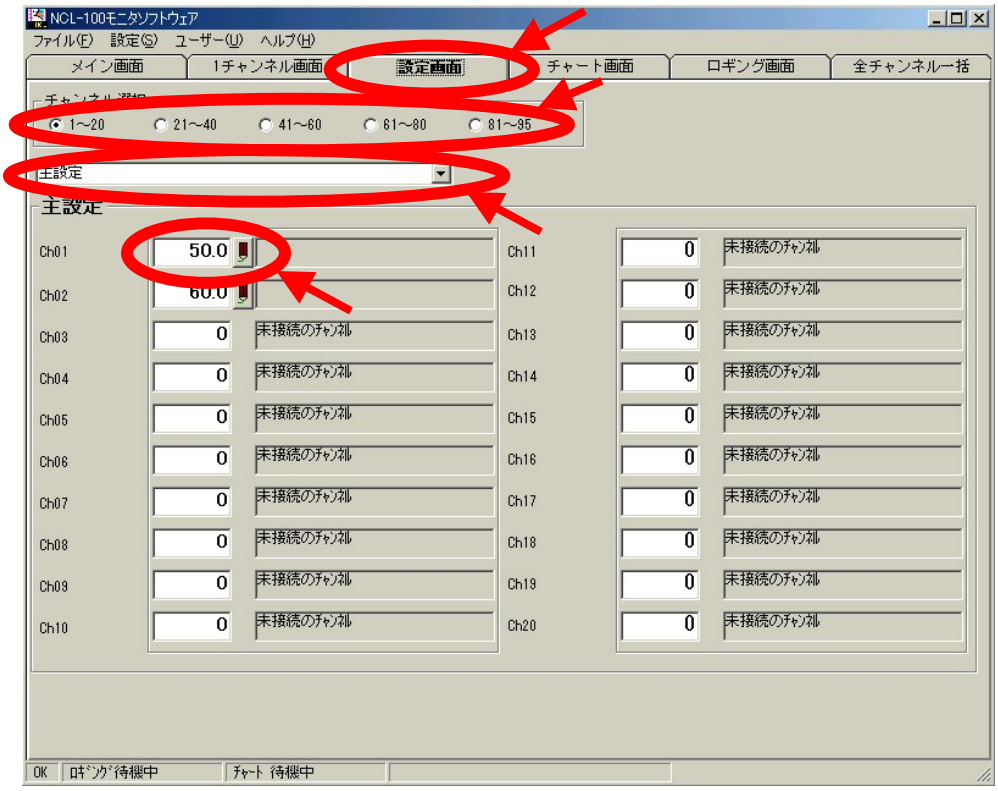


図 2.3.1-4

操作説明

○ 1 ～ 20 : ○ をクリック(◉)すると，機器番号0～19に設定されている NCL-13Aの設定値を表示します。

○ 21～ 40 : ○ をクリック(◉)すると，機器番号20～39に設定されている NCL-13Aの設定値を表示します。

○ 41～ 60 : ○ をクリック(◉)すると，機器番号40～59に設定されている NCL-13Aの設定値を表示します。

○ 61～ 80 : ○ をクリック(◉)すると，機器番号60～79に設定されている NCL-13Aの設定値を表示します。

○ 81～ 95 : ○ をクリック(◉)すると，機器番号80～94に設定されている NCL-13Aの設定値を表示します。

[設定項目名選択]: ▼ボタンをクリックし，設定したい設定項目を選択してください。

[設定]ボタン : このボタンをクリックすると，テンキーボードまたは選択画面を表示します。
設定値を入力または選択し，[OK]ボタンをクリックしてください。

(4) チャート画面

チャートを表示する画面です。
チャート表示できる点数は最大95点で，制御入力値(PV)，主設定(SV)の中から選択できます。
[チャートを実行する項目とチャンネルを選択します。] ボタンをクリックしてチャート描写条件設定(➡P.30)を行わないと，チャート表示を開始できません。
チャート表示停止後，再度開始するとチャート画面をクリアして再描写となります。
チャート実行中モニタソフトを終了した場合，次回起動時自動的にチャート表示を開始します。

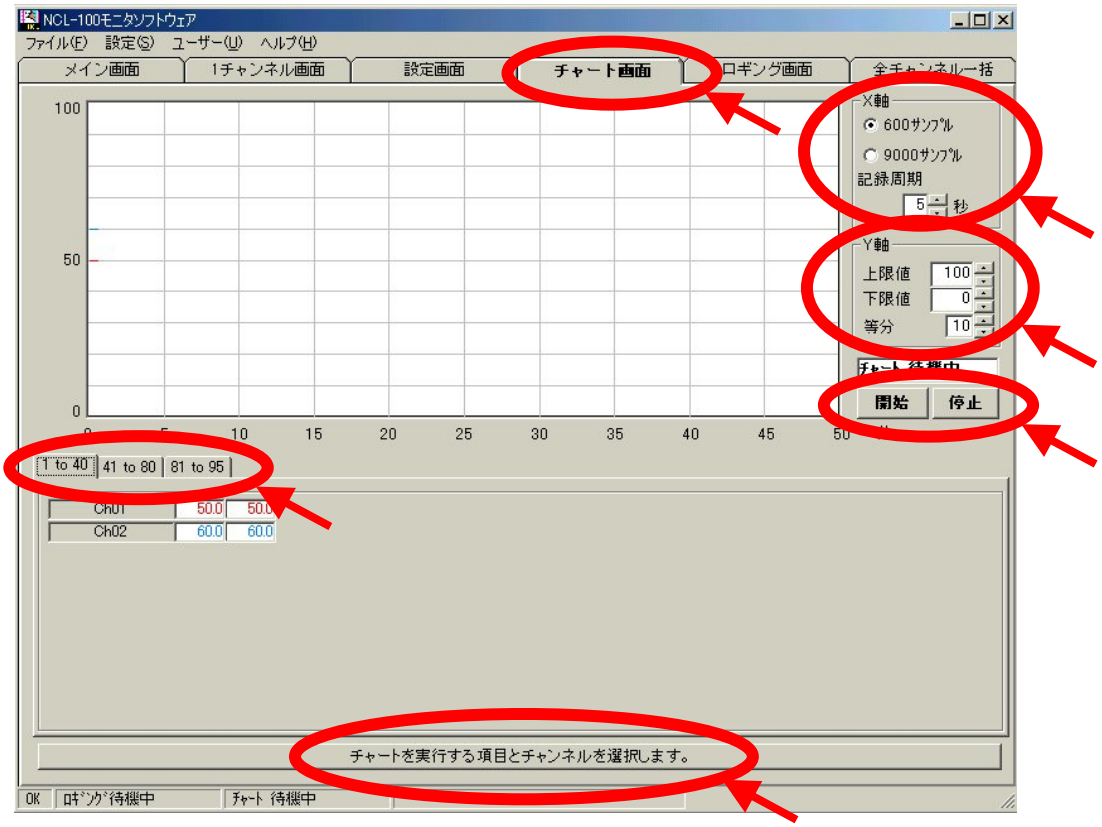


図 2.3.1-5

操作説明

[X軸]設定項目　：サンプル数を選択，記録周期(1～60秒)を設定してください。
例えば，サンプル数を600，記録周期を5秒とすると，3000秒となり，X軸の表示は0～50分になります。
[Y軸]設定項目　：チャート表示の上限値，下限値および等分を設定してください。
[開始]ボタン　：このボタンをクリックすると，チャート表示を開始します。
[停止]ボタン　：このボタンをクリックすると，チャート表示を停止します。
[1 to 40]タブ　：機器番号0～39に設定されているNCL-13Aのデータを表示します。
[41 to 80]タブ　：機器番号40～79に設定されているNCL-13Aのデータを表示します。
[81 to 95]タブ　：機器番号80～94に設定されているNCL-13Aのデータを表示します。
[チャートを実行する項目とチャンネルを選択します。]ボタン:
このボタンをクリックすると，チャート描写条件設定画面に移行します。

チャート描写が終了した場合，以下の画面を表示します。



図 2.3.1-6

(5) チャート描写条件設定画面

チャートを実行する項目とチャンネル番号，チャートの色など描写条件を表示する画面です。
チャート描写条件設定を行わないと，チャートを開始できません。

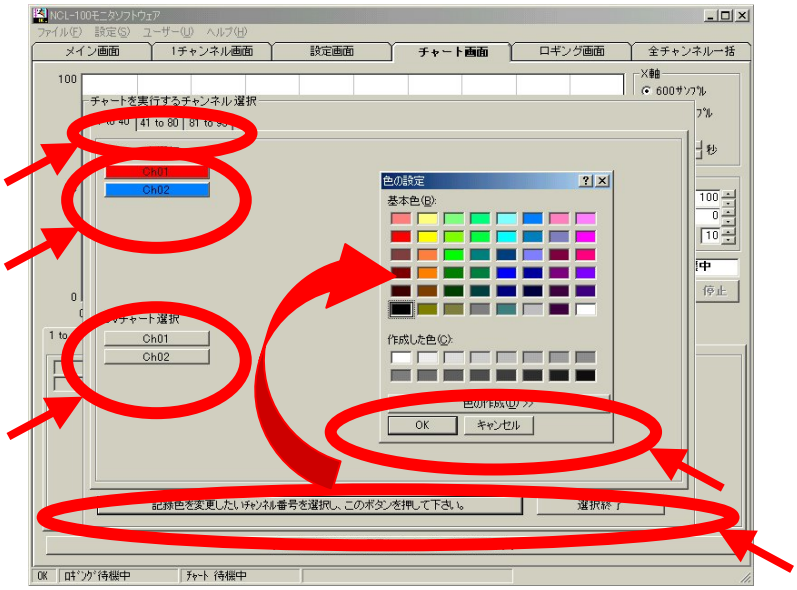


図2.3.1-7

操作説明

[1 to 40]タブ ： 機器番号0～39に設定されているNCL-13Aのチャート描写条件を設定します。
[41 to 80]タブ: 機器番号40～79に設定されているNCL-13Aのチャート描写条件を設定します。
[81 to 95]タブ: 機器番号80～94に設定されているNCL-13Aのチャート描写条件を設定します。
[Chxx]ボタン　　: PV，SVそれぞれ表示させたいチャンネルを選択してください。
[記録色を変更したいチャンネル番号を選択し，このボタンを押してください。]ボタン:
　　このボタンをクリックすると，色の設定画面が表示されます。
[選択終了]ボタン　　: このボタンをクリックすると，チャート描写条件設定を終了し，
　　チャート画面に戻ります。

色の設定画面

[色の作成(D)]ボタン　　: このボタンをクリックすると，任意の色を作成し追加できます。
[OK]ボタン　　: このボタンをクリックすると，色を設定し画面を閉じます。
[キャンセル]ボタン　　: このボタンをクリックすると，色を設定せずに画面を閉じます。

チャート実行例

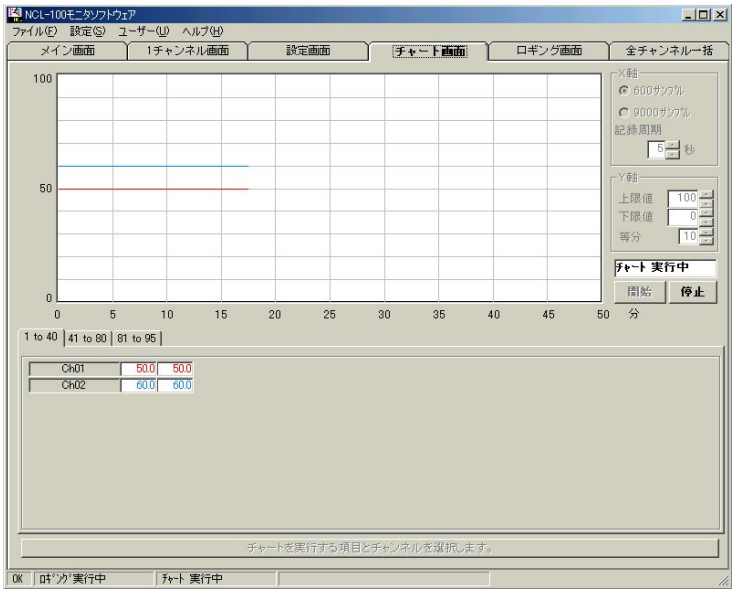


図2.3.1-8

(6) ロギング画面

データロギング条件を設定する画面です。
データロギング保存先を設定しないと，データロギングを開始できません。
[参照]ボタンをクリックしてファイル名を入力してください。
ただし，継続してデータ保存にチェックが入っていると，データロギングを開始した日時(西暦_月_日_時_分_秒.csv)で自動的にファイルを作成し，インストール先の loggingフォルダ内に保存します。
[開始]ボタンをクリックすると，データロギング時間毎に選択したチャンネルのPV値をファイルに保存します。
保存したデータは，Microsoft Excel など市販の表計算ソフトウェアで編集が行えます。

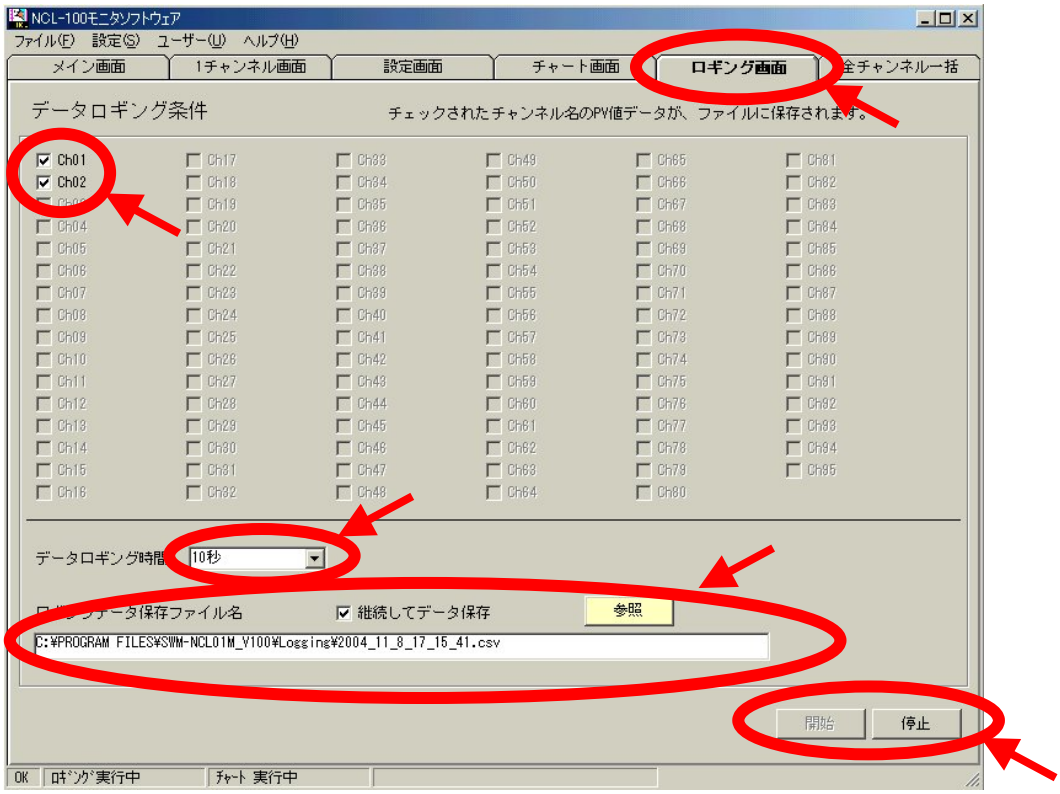


図2.3.1-9

操作説明

[Ch01～95]選択項目	：チャンネル横の□をクリック(チェック)し，データロギングしたいチャンネルを選択してください。
[データロギング時間]選択項目	：▼ボタンをクリックし，データロギング時間を選択してください。
□ 継続してデータ保存	：□をクリック(チェック)し，データロギングを開始すると，前回と同じファイルに追加保存します。 チェックを外し，データロギングを開始すると，新規にファイルを開き保存します。
[参照]ボタン	：ファイル名を変更したい場合，このボタンをクリックしてください。 「ファイルを開く」ダイアログボックスが開きます。 ファイルを選択し，[開く(O)]ボタンをクリックしてください。
[開始]ボタン	：このボタンをクリックすると，データロギングを開始します。
[停止]ボタン	：このボタンをクリックすると，データロギングを停止します。

モニタソフト起動時のオートスタートについて
データロギング実行中のままモニタソフトを終了した場合，モニタソフト起動時自動的にデータロギングを開始します。
継続してデータ保存にチェックが入っているか，いないかでファイルへの保存方法が異なります。

・継続してデータ保存にチェックが入っている場合
前回と同じファイルに追加保存します。

・継続してデータ保存にチェックが入っていない場合
前回と同じファイルに上書きを行うかどうか確認画面を表示します。

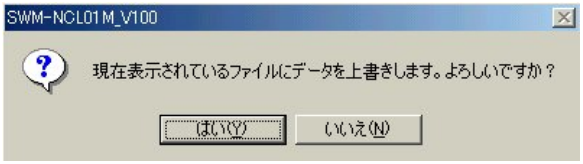


図2.3.1-10

[はい(Y)]ボタンをクリックすると，前回と同じファイルに上書き保存します。

> **⚠ 注　意**
>
> 上書き保存すると，前回のデータを全て消去します。
> 消去したくない時は，新規にファイルを指定してください。

[いいえ(N)]ボタンをクリックすると，以下の画面を表示します。



図2.3.1-11

[OK]ボタンをクリックすると，以下の画面を表示します。

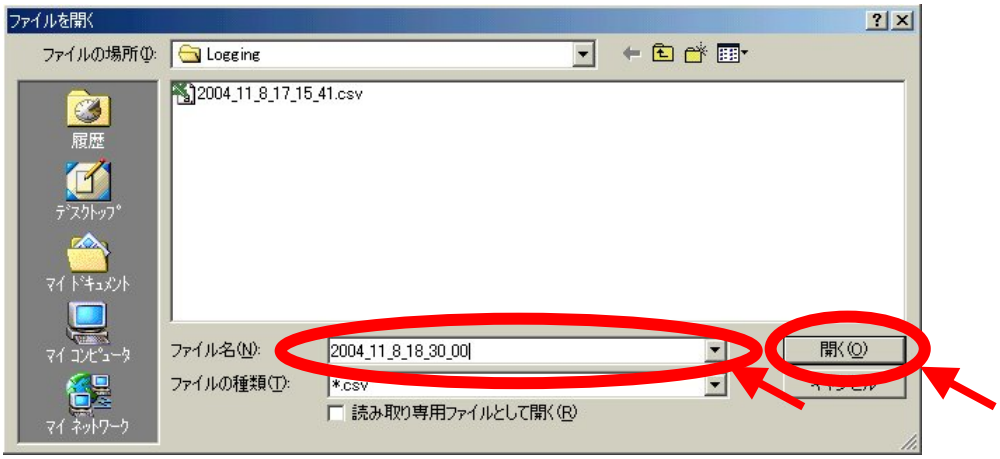


図2.3.1-12

新しいファイル名を入力し，[開く(O)]ボタンをクリックしてください。
入力したファイルに保存します。

(7) 全チャンネル一括設定画面

接続されている全てのNCL-13Aに転送するデータを設定する画面です。
画面上の設定値をファイルにセーブ(保存)またはファイルからロード(読込み)を行えます。

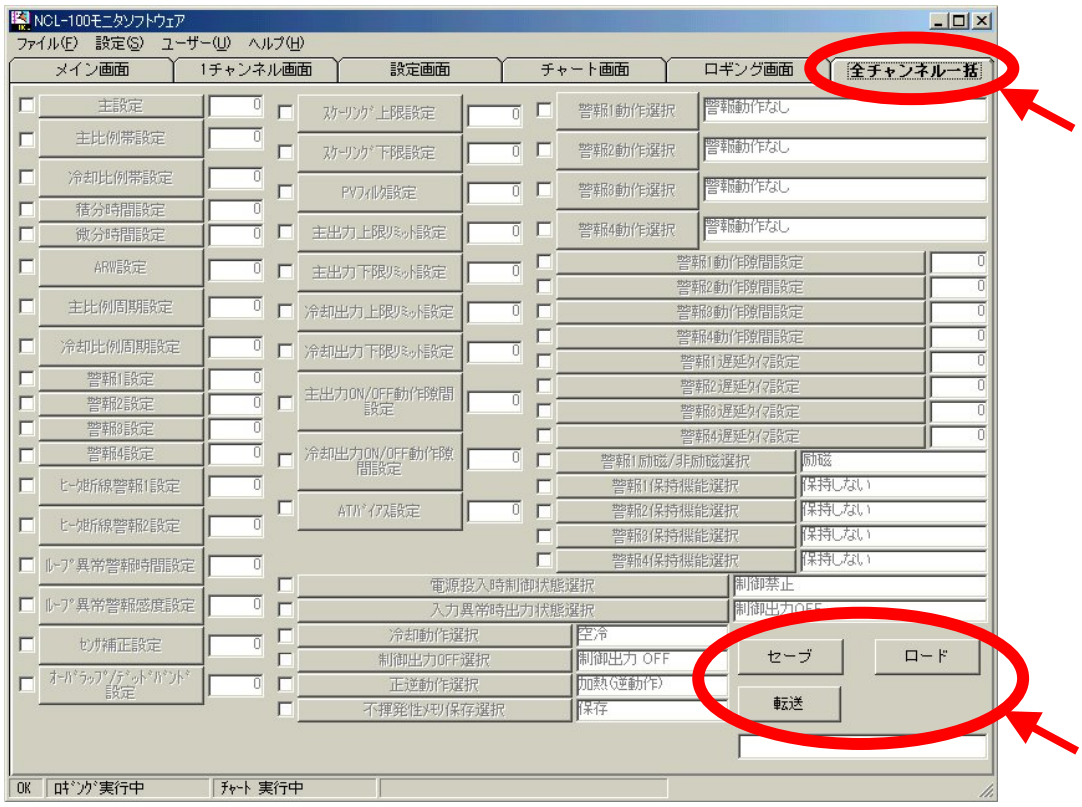


図2.3.1-13

操作説明

□ 各設定／選択項目　：□をクリック(チェック)し，転送する項目を選択してください。チェックを付けると**各設定／選択項目ボタン**が有効になり，設定／選択ができるようになります。

各設定／選択項目ボタン：このボタンをクリックすると，テンキーボードまたは選択画面が表示されます。
設定値を入力または選択し, [OK]ボタンをクリックしてください。

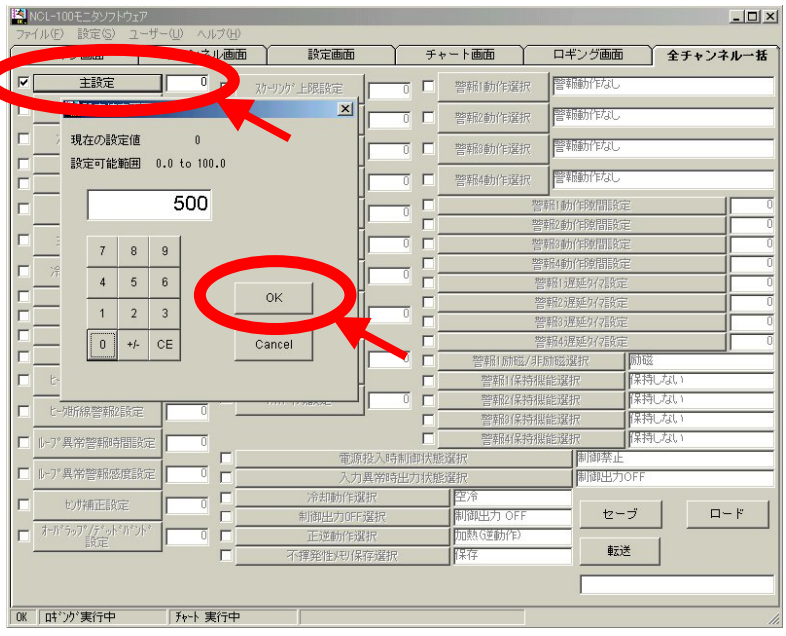


図2.3.1-14 (例) 主設定値設定テンキーボード

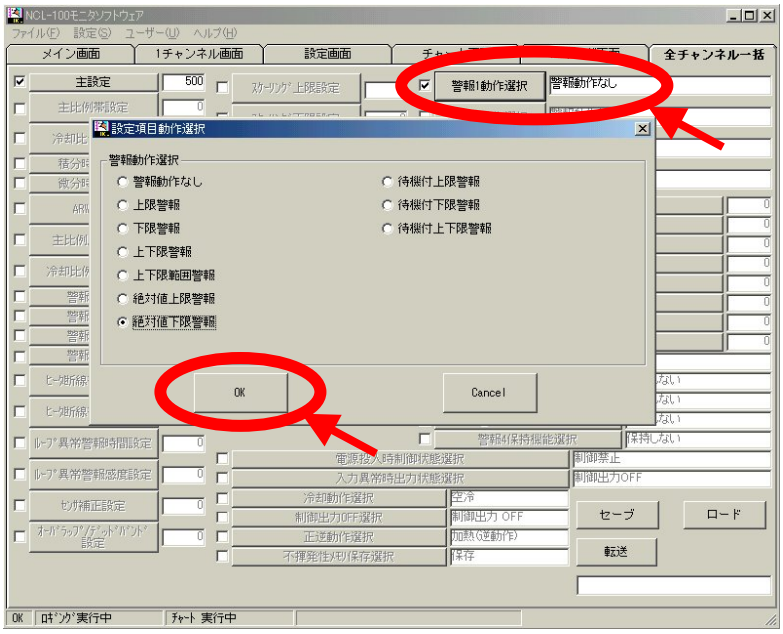


図2.3.1-15 警報1設定値ロック指定選択画面

[セーブ]ボタン　　：このボタンをクリックすると，「名前を付けて保存」ダイアログボックスが開きます。

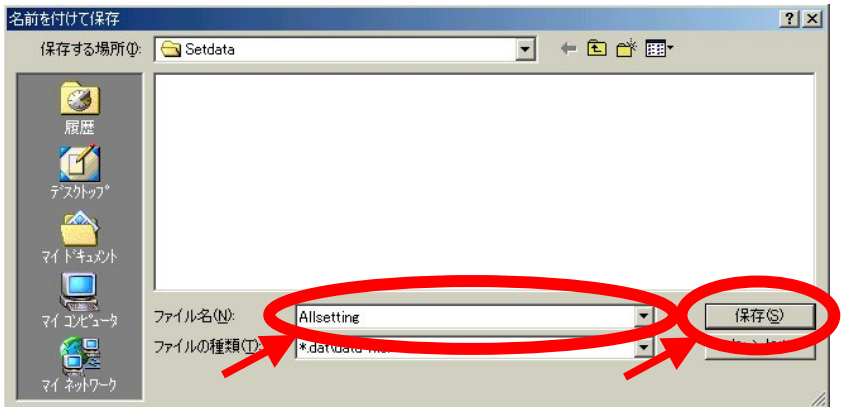


図2.3.1-16

ファイル名を入力し，[保存(S)]ボタンをクリックしてください。画面上のデータをインストール先の Setdataフォルダ内ファイルに保存します。

[ロード]ボタン　　：このボタンをクリックすると，「この画面のデータに上書きされます。よろしいですか?」という確認画面が表示されます。

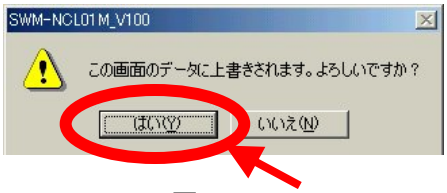


図2.3.1-17

[はい(Y)]ボタンをクリックすると，「ファイルを開く」ダイアログボックスが開きます。
[いいえ(N)]ボタンをクリックすると，ロードを取り消し確認画面を閉じます。

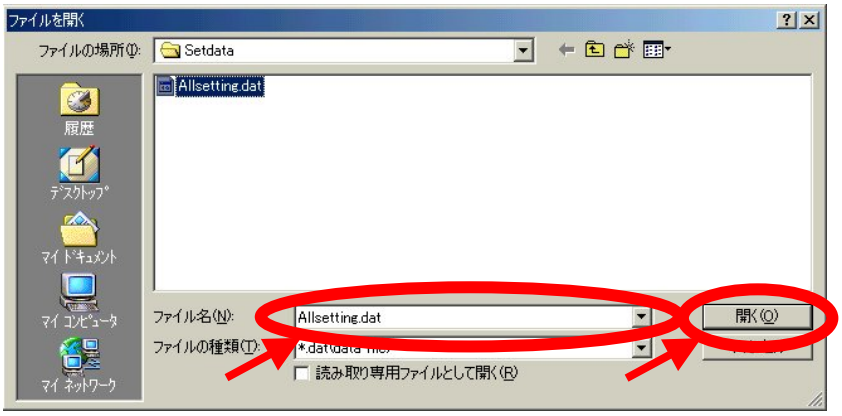


図2.3.1-18

ファイルを選択し，[開く(O)]ボタンをクリックしてください。
ファイルからデータを読み込み，画面表示が更新されます。

[転送]ボタン　：

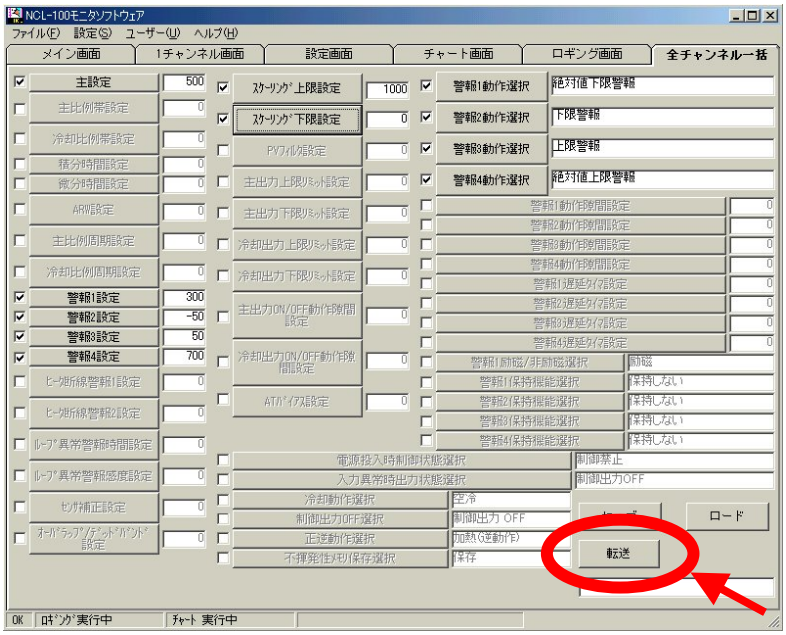


図2.3.1-19

このボタンをクリックすると，「**全チャンネルのデータが上書きされます。よろしいですか?**」という確認画面を表示します。

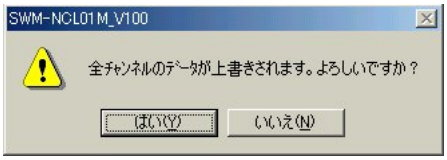


図2.3.1-20

[はい(Y)]ボタンをクリックすると，チェックを付けた設定／選択項目が接続されている全てのNCL-13Aに転送します。
[いいえ(N)]ボタンをクリックすると，転送を中止します。
チェックの付いていない設定／選択項目は転送しません。
また，AT(オートチューニング)中のNCL-13Aがある場合，以下の画面を表示し，転送しません。



図2.3.1-21

2.3.2 メニューバーの操作

(1) プリンタ選択

印刷に使用するプリンタを選択します。

① メニューバーの[ファイル(F)] - [プリンタ選択(S)]を選択し，クリックしてください。

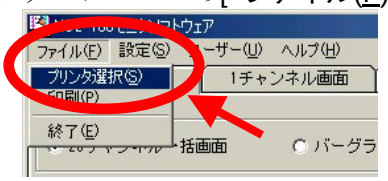


図 2.3.2-1

② プリンタ選択画面を表示します。
プリンタを選択し，[OK]ボタンをクリックしてください。

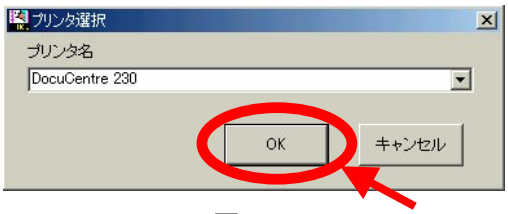


図 2.3.2-2

(2) 印刷

モニタソフト画面上の表示内容を印刷します。

① メニューバーの[ファイル(F)] - [印刷(P)]を選択し，クリックしてください。

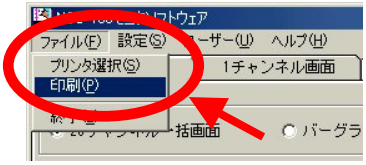


図 2.3.2-3

② モニタソフト画面上の表示内容を印刷します。

(3) モニタソフトの終了

モニタソフトを終了します。

① メニューバーの[ファイル(F)] - [終了(E)]を選択し，クリックしてください。

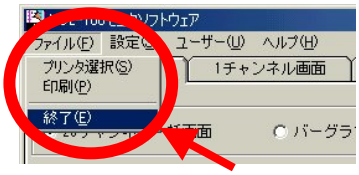


図2.3.2-4

② 終了確認画面を表示します。
終了する場合は[はい(Y)]，終了しない場合は[いいえ(N)]ボタンをクリックしてください。

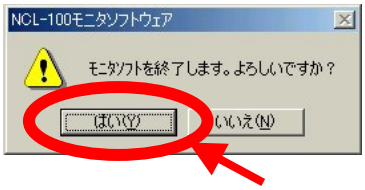


図2.3.2-5

(4) チャンネル名登録

モニタソフト画面上に表示されるチャンネル名を登録します。
登録したチャンネル名は，モニタソフト画面上やチャンネル名選択リストに表示します。

① メニューバーの[**設定(S)**] - [**チャンネル名登録(C)**]を選択しクリックしてください。

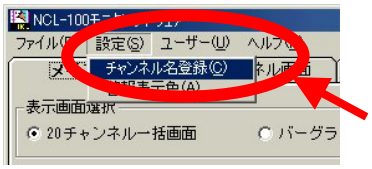


図 2.3.2-6

② **チャンネル名登録画面**を表示します。
チャンネル名を入力し，[OK]ボタンをクリックしてください。
登録できる文字数は，全角6文字，半角12文字までです。

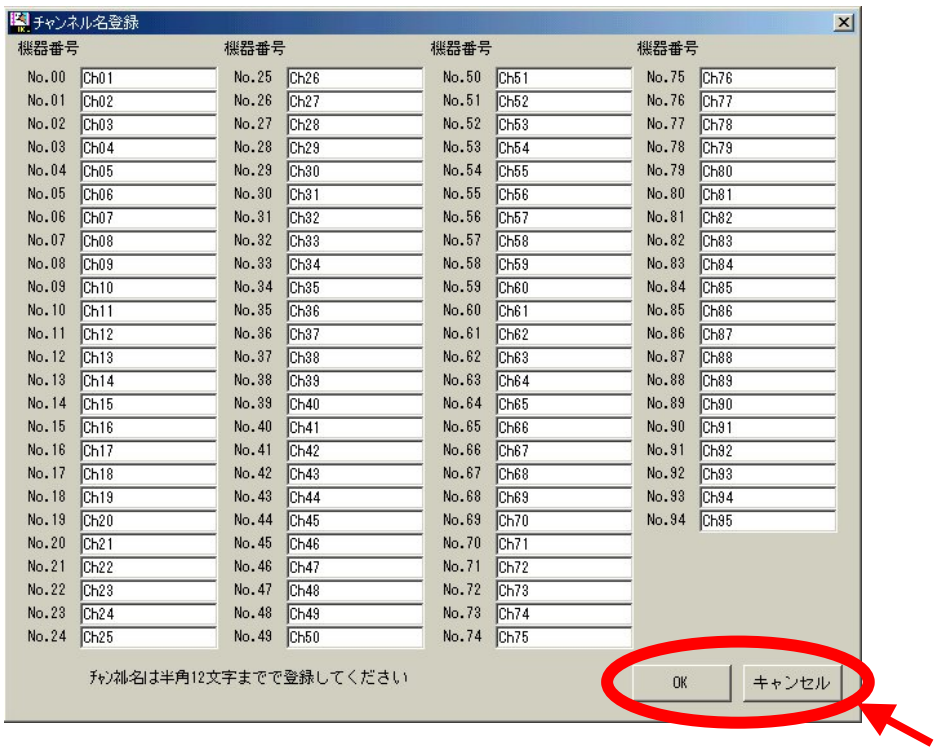


図 2.3.2-7

(5) 警報表示色設定

警報 1，警報 2，警報 3，警報 4 および複合警報(2 種類以上の警報が同時にはたらいた場合)の表示色を設定します。
初期値は，全て赤色です。

① メニューバーの[**設定(S)**] - [**警報表示色(A)**]を選択し，クリックしてください。

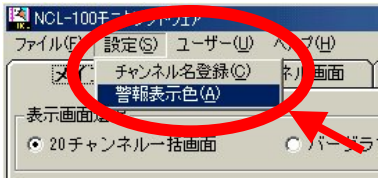


図 2.3.2-8

② **警報表示色設定画面**を表示します。(図2.3.2-9)
表示色を変更したいボタンをクリックしてください。色の設定画面を表示します。(図2.3.2-10)
色の設定を行い，[OK]ボタンをクリックしてください。警報表示色設定画面に戻ります。
[OK]ボタンをクリックすると，モニタソフト内の警報表示灯が設定した色になります。
[**キャンセル**]ボタンをクリックすると，設定した色は無効になります。
複合警報(2種類以上の警報が同時にはたらいた場合)表示色設定で設定した色は，バーグラフ表示画面(➡P.26 図2.3.1-2)のみ有効です。

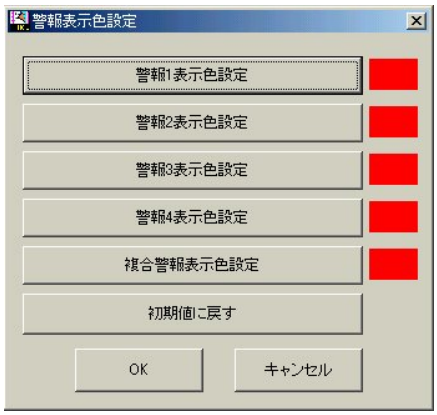


図2.3.2-9

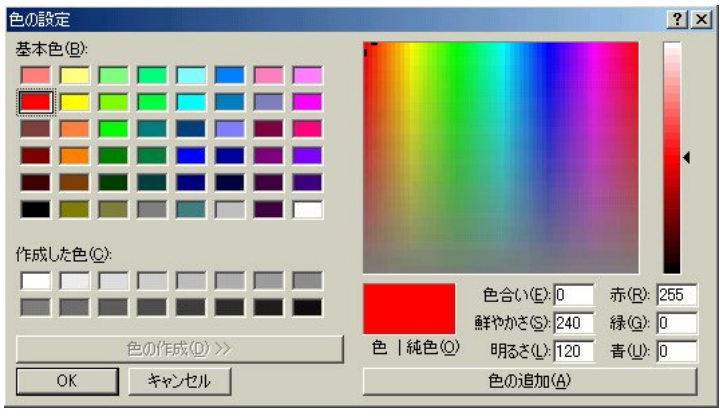


図2.3.2-10

(6) チャンネル単位 設定値のセーブとロード

画面上の設定値をチャンネル単位でファイルにセーブ(保存)またはファイルからロード(読込み)を行います。チャンネル間のデータ転送を行えます。

① メニューバーの[**ユーザー(U)**] - [**設定値のセーブ/ロード(G)**] - [**チャンネル単位(C)**]を選択し，クリックしてください。

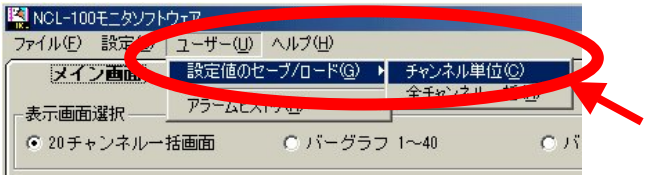


図2.3.2-11

② **チャンネル単位 設定値セーブとロード画面**が表示されます。

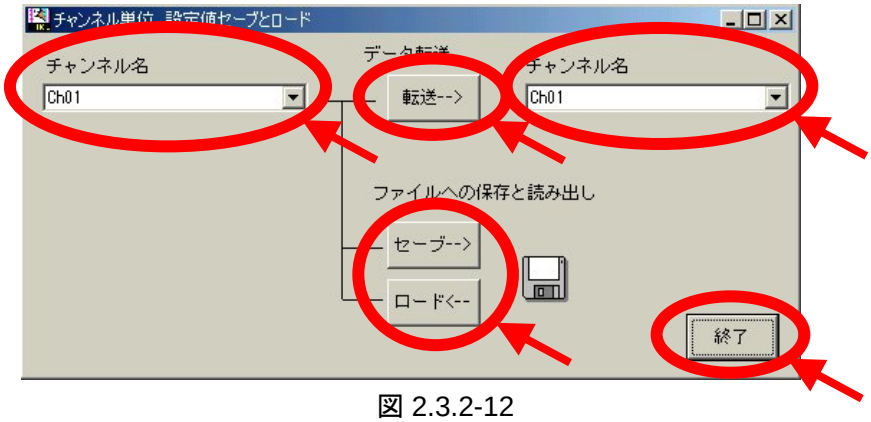


図 2.3.2-12

操作説明

チャンネル名選択項目: セーブまたはロードするチャンネル名を選択してください。
データ転送の場合，転送先のチャンネル名も選択してください。

[転送-->]ボタン : このボタンをクリックすると，転送元チャンネルの設定値が転送先チャンネルに転送されます。

[セーブ-->]ボタン : このボタンをクリックすると，**「名前を付けて保存」**ダイアログボックスが開きます。

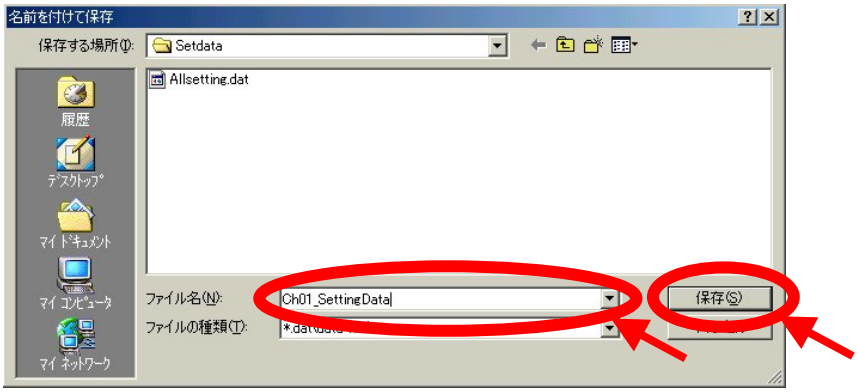


図2.3.2-13

ファイル名を入力し，[**保存(S)**]ボタンをクリックしてください。
選択したチャンネルの設定値をインストール先 Setdataフォルダ内のファイルに保存します。

[ロード<--]ボタン : このボタンをクリックすると，**「指定されたチャンネルにデータが上書きされます。よろしいですか?」**という確認画面が表示されます。

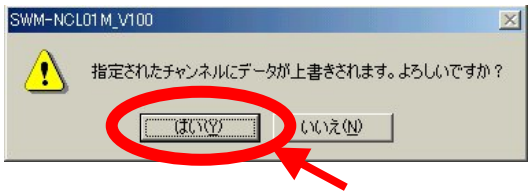


図 2.3.2-14

[はい(Y)]ボタンをクリックすると，「**ファイルを開く**」ダイアログボックスが開きます。
[**いいえ(N)**]ボタンをクリックすると，ロードを取り消し確認画面を閉じます。

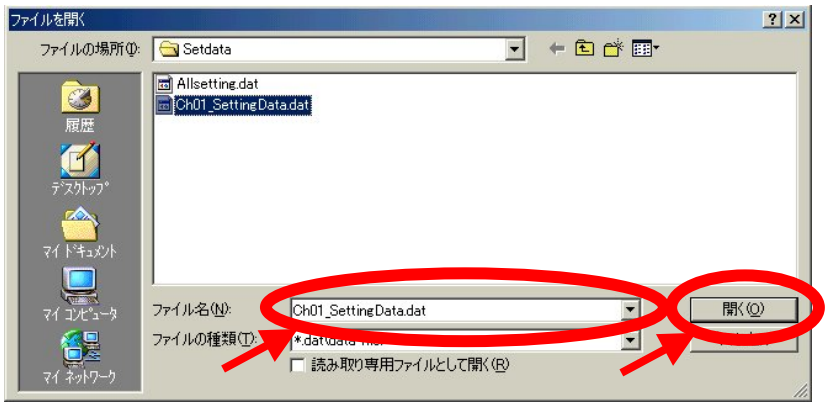


図2.3.2-15

ファイルを選択し，[**開く(O)**]ボタンをクリックしてください。
ファイルからデータを読み込み，選択したチャンネルの設定値を更新します。

[**終了**]**ボタン**　　：このボタンをクリックすると，チャンネル単位 設定値セーブとロード画面を閉じます。

(7) 全チャンネル一括 設定値のセーブとロード

画面上の全チャンネルの設定値をファイルにセーブ(保存)またはファイルからロード(読込み)を行います。

① メニューバーの[**ユーザー(U)**] - [**設定値のセーブ/ロード(G)**] - [**全チャンネル一括(A)**]を選択し，クリックしてください。

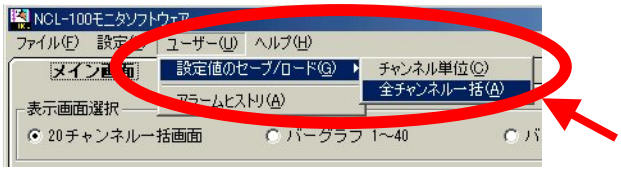


図2.3.2-16

② **全チャンネル一括 設定値セーブとロード画面**を表示します。

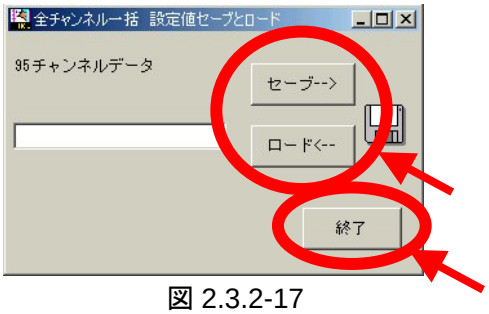


図 2.3.2-17

操作説明

[セーブ-->]ボタン　：このボタンをクリックすると，「名前を付けて保存」ダイアログボックスが開きます。

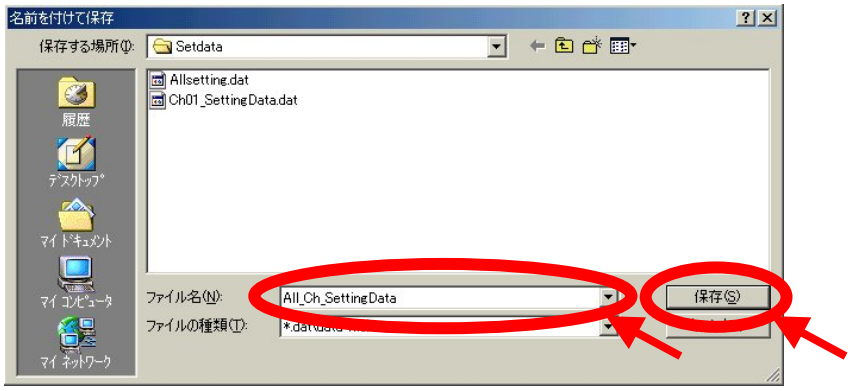


図2.3.2-18

ファイル名を入力し，[保存(S)]ボタンをクリックしてください。全チャンネルの設定値をインストール先 Setdataフォルダ内のファイルに保存します。

[ロード<--]ボタン　：このボタンをクリックすると，「全チャンネルのデータが上書きされます。よろしいですか?」という確認画面が表示されます。

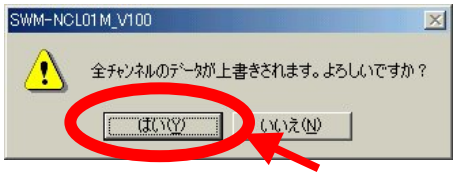


図 2.3.2-19

[はい(Y)]ボタンをクリックすると，「ファイルを開く」ダイアログボックスが開きます。

[いいえ(N)]ボタンをクリックすると，ロードを取り消し確認画面を閉じます。

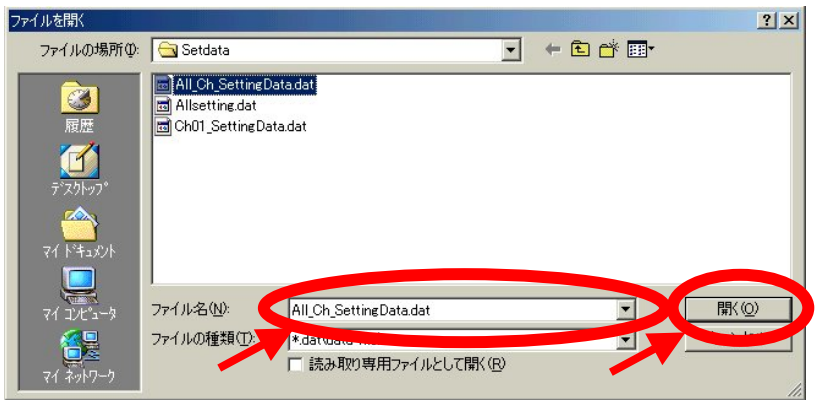


図2.3.2-20

ファイルを選択し，[開く(O)]ボタンをクリックしてください。ファイルからデータを読み込み，全チャンネルの設定値を更新します。

[終了]ボタン　：このボタンをクリックすると，全チャンネル一括 設定値セーブとロード画面を閉じます。

(8) アラームヒストリ画面

通信エラー発生時，モニタ中の警報1，警報2，警報3，警報4，ヒータ断線警報，ループ異常警報発生時および正常に戻った時のチャンネル名と時間を表示します。

インストール先の Historyフォルダ内に txt拡張子でファイルに保存も行います。
ファイル名は，モニタソフトを起動した日時(His_西暦_月_日_時_分.txt)で自動的に設定されます。

① メニューバーの[**ユーザー(U)**] - [**アラームヒストリ(A)**]を選択し，クリックしてください。

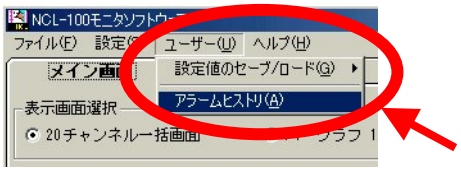


図2.3.2-21

② **アラームヒストリ画面**が表示されます。

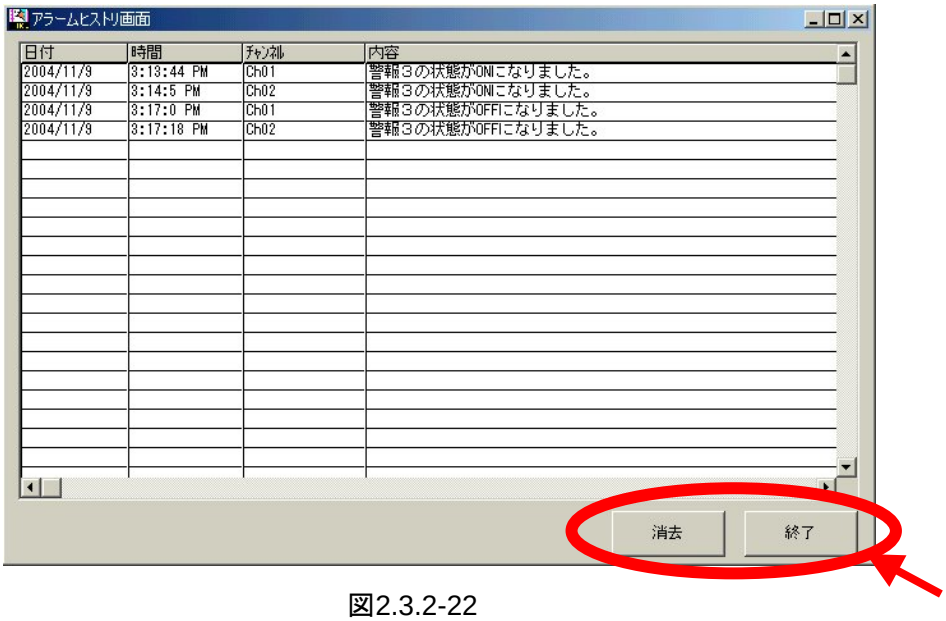


図2.3.2-22

操作説明

[消去]ボタン ：このボタンをクリックすると，画面上のヒストリデータを消去します。
[終了]ボタン ：このボタンをクリックすると，アラームヒストリ画面を閉じます。

(9) ヘルプ画面

モニタソフトの各画面や操作の説明を表示します。

① メニューバーの[**ヘルプ(H)**] - [**ヘルプ(M)**]を選択し，クリックしてください。

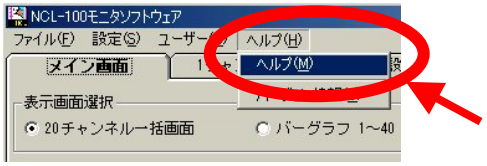


図2.3.2-23

② **ヘルプ画面**を表示します。

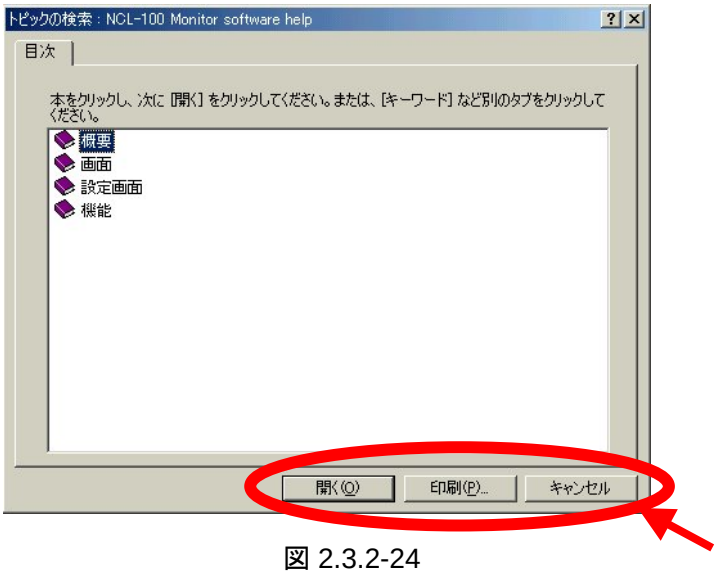


図 2.3.2-24

操作説明

[**開く(O)]ボタン**　：このボタンをクリックすると，選択したヘルプ内容を表示します。閉じている本のアイコンを選択した場合，本を開きます。開いている本を選択した場合，本を閉じます。

[**印刷(P)...]ボタン**　：このボタンをクリックすると，選択したヘルプ内容を印刷します。本のアイコンを選択すると，その本に含まれる全てのヘルプ内容が印刷されます。

[**キャンセル]ボタン**：このボタンをクリックすると，ヘルプ画面を閉じます。

(10) バージョン情報画面

モニタソフトのバージョン情報を表示します。

① メニューバーの[**ヘルプ(H)**] - [**バージョン情報(V)**]を選択し，クリックしてください。

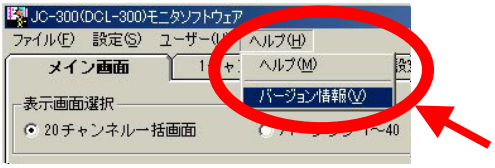


図2.3.2-25

② **バージョン情報画面**を表示します。

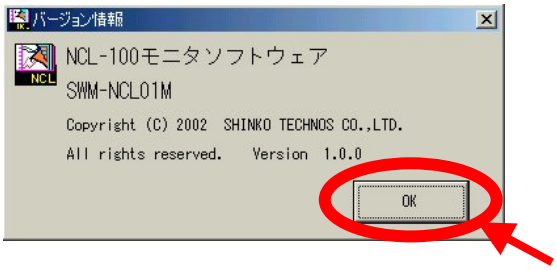


図 2.3.2-26

操作説明

[OK]**ボタン**　：このボタンをクリックすると，バージョン情報画面を閉じます。

・・・お問い合わせは・・・

本モニタソフトについて不明な点がございましたら，お買い上げいただきました販売店，弊社営業所，または出張所まで問い合わせください。

なお，動作上の不具合については，その内容とご使用状態の詳細を具体的にお知らせください。

Shinko 神港テクノス株式会社

本　　社　〒562-0015　大阪府箕面市稲１丁目２番４８号
TEL (072)722-4571　FAX (072)720-7823
URL:http://www.shinko-technos.co.jp

大阪営業所　〒562-0015　大阪府箕面市稲１丁目２番４８号
TEL (072)724-6031　FAX (072)724-6021
E-mail:sales@shinko-techos.co.jp

東京営業所　〒332-0006　埼玉県川口市末広１丁目１３番１７号
TEL (048)223-7121　FAX (048)223-7120

名古屋営業所　〒460-0007　名古屋市中区新栄２丁目１９番３号
TEL (052)261-8335　FAX (052)251-3833

神奈川出張所TEL:(045)361-8270／FAX:(045)361-8271
静　岡出張所TEL:(054)282-4088／FAX:(054)282-4088
広　島出張所TEL:(082)231-7060／FAX:(082)234-4334
徳　島出張所TEL:(0883)24-3570／FAX:(0883)24-3217
福　岡出張所TEL:(0942)77-0403／FAX:(0942)77-3779

福岡工場　徳島工場　三田工場

No.SWMNCL11J2 2005.01